

「さのタク」社会実験後のアンケート

調査結果報告書

令和7年7月

目次

1. 調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査方法	1
3) 調査項目	1
2. 回答者属性	2
3. 単純集計	5
1) さのタクの利用について	5
2) 社会実験期間中、さのタクを利用した方への質問	7
3) 社会実験期間中、さのタクを利用しなかった方への質問	11
4) さのタクを知らない方への質問	14
5) すべての方へのデマンド乗合交通に関する質問	18
4. クロス集計	21
1) さのタクの利用について	21
2) 社会実験期間中、さのタクを利用しなかった方への質問	23
3) さのタクを知らない方への質問	26
4) すべての方へのデマンド乗合交通に関する質問	30
5. 自由記述	34
6. 考察	42
1) さのタクの認知状況	42
2) デマンド型乗合交通に対する意向	42
3) 将来必要だと思う移動手段	42
4) 自由記述による主な意見・要望	42
5) 総括	42

1. 調査概要

1) 調査目的

泉佐野市で 2025 年 2 月 1 日から 3 月 31 日まで社会実験を実施した、デマンド乗合交通「さのタク」に関して、ご利用状況・満足度・サービスの認知度などを把握し、将来的な本格運行の判断やサービス内容の改善に不可欠な基礎資料とするため、運行エリア近隣住民に対するアンケート調査を行った。

2) 調査方法

調査期間	令和 7 年 5 月 19 日（月）～令和 7 年 5 月 30 日（金）
調査対象	運行エリア近隣にお住まいの 1,250 名（無作為抽出）
調査方法	郵送調査（調査票）及び WEB 調査（Microsoft Forms）
回収数	390 票（郵送：274 票、Web：116 票）回収率 31.2%

3) 調査項目

問 NO.	設問	回答形式	備考
1	さのタクを知っているか	SA	すべての方への設問
2	さのタクをどこで知ったか	MA	さのタクを「利用した」方への限定設問
3	さのタクを利用したか	SA	
4	利用時の主な目的	MA	
5	これまでどの交通手段で移動していたか	MA	
6	さのタク利用時の満足度	SA	
7	社会実験前の外出頻度	SA	
8	社会実験中の外出頻度	SA	
9	社会実験前の日常生活に関する満足度	SA	
10	社会実験中の日常生活に関する満足度	SA	
11	利用しなかった理由	MA	さのタクを「利用しなかった」方への限定設問
12	不満等が解消されより便利になれば利用したいか	SA	
13	ふだんの日常的な移動における主な移動手段	MA	
14	さのタクを知っていた場合、利用してみたかったか	SA	1 で「知らない」と回答された方への限定設問
15	ふだん、市政情報は何から得ているか	MA	
16	市政情報に限らず情報入手に使っている SNS	MA	
17	ふだんの日常的な移動における主な移動手段	MA	
18	有料運行された場合、いくらまでなら利用したいか	SA	すべての方への設問
19	デマンド乗合交通の定着で、生活の質は向上すると思うか	SA	
20	デマンド乗合交通に対する要望	MA	
21	お住まいの地域で将来最も必要と思う移動手段	SA	
22	性別	SA	回答者属性
23	年齢	SA	
24	お住いの地域	SA	
25	職業	SA	
26	ふだん、自動車を運転するか	SA	
27	スマートフォンを利用しているか	SA	
28	自由意見	文章	

SA (Single Answer)：単一回答 MA (Multi Answer)：複数回答

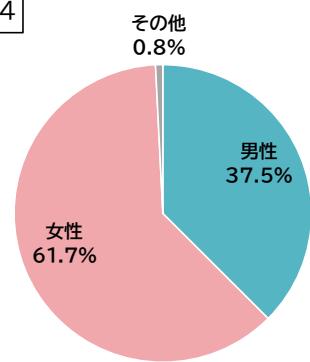
2. 回答者属性

性別 (SA)

回答者の性別は、「女性」の方が多く、61.7%となっている。

	カテゴリー名	n	%
1	男性	144	37.5
2	女性	237	61.7
3	その他	3	0.8
	不明	6	
	全体	384	100.0

n=384

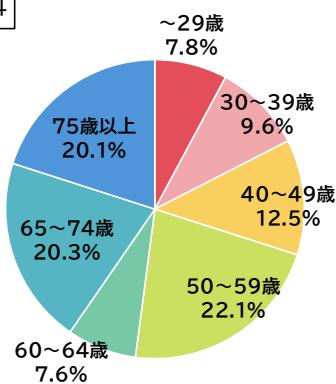


年齢 (SA)

年齢は、高齢者が4割と多いが、幅広い年代からの回答を得られた。

	カテゴリー名	n	%
1	~29歳	30	7.8
2	30~39歳	37	9.6
3	40~49歳	48	12.5
4	50~59歳	85	22.1
5	60~64歳	29	7.6
6	65~74歳	78	20.3
7	75歳以上	77	20.1
	不明	6	
	全体	384	100.0

n=384

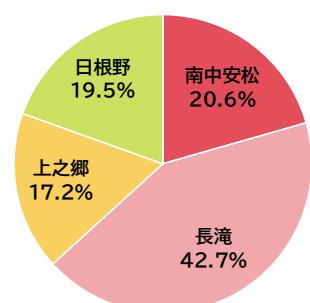


お住いの地域 (SA)

お住いは「長滝」が42.7%と最も多く、次いで「南中安松」が20.6%と多い結果となった。

	カテゴリー名	n	%
1	南中安松	79	20.6
2	長滝	164	42.7
3	上之郷	66	17.2
4	日根野	75	19.5
5	その他	0	0.0
	不明	6	
	全体	384	100

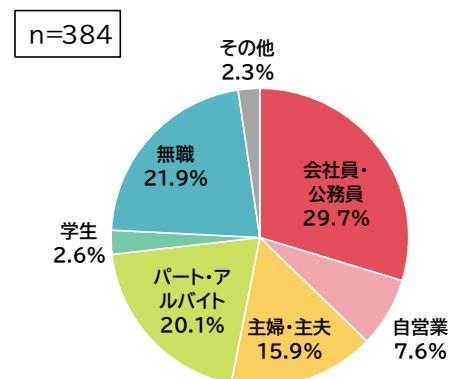
n=384



職業 (SA)

職業は、「会社員・公務員」が29.7%と最も多く、次いで「無職」が21.9%と多い結果になった。幅広く市民から回答を得ることができた。

	カテゴリー名	n	%
1	会社員・公務員	114	29.7
2	自営業	29	7.6
3	主婦・主夫	61	15.9
4	パート・アルバイト	77	20.1
5	学生	10	2.6
6	無職	84	21.9
7	その他	9	2.3
	不明	6	
	全体	384	100.0



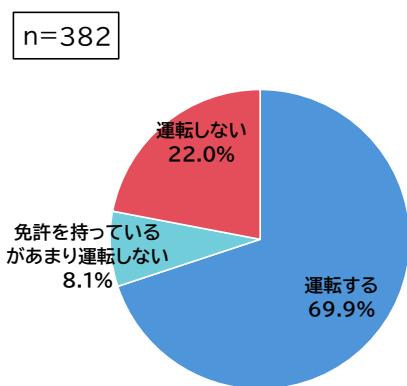
■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
~29 歳	上之郷	B型作業所
50~59 歳	長瀧	両親の介護
75 歳以上	南中安松	理事長
65~74 歳	長瀧	団体職員
40~49 歳	長瀧	b型就労支援

ふだん、自動車を運転しますか？ (SA)

自動車の利用状況は、「運転する」が69.9%と最も多く、次いで「運転しない」が22.0%と多かった。

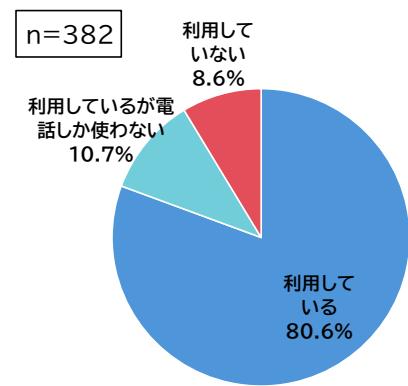
	カテゴリー名	n	%
1	運転する	267	69.9
2	免許を持っているがあまり運転しない	31	8.1
3	運転しない	84	22.0
	不明	8	
	全体	382	100.0



スマートフォンを利用していますか？(SA)

スマートフォンは、「利用している」が 80.0%と高く、次いで「利用しているが電話しか使わない」が 10.7%となった。9割以上がスマートフォンを使用している。

	カテゴリー名	n	%
1	利用している	308	80.6
2	利用しているが電話しか使わない	41	10.7
3	利用していない	33	8.6
	不明	8	
	全体	382	100.0



3. 単純集計

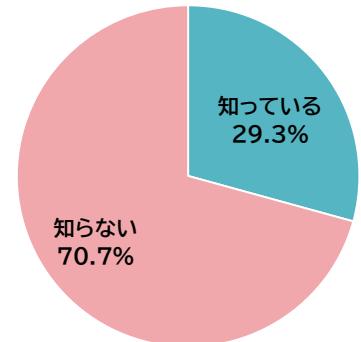
1) さのタクの利用について

問1 2025年2月1日～3月31日まで社会実験を実施していたさのタクをご存じですか？ (SA)

「知っている」が29.3%、残りの70.7%は「知らない」と回答している。

n=386

No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	113	29.3
2	知らない	273	70.7
3	不明		
	全体	386	100.0



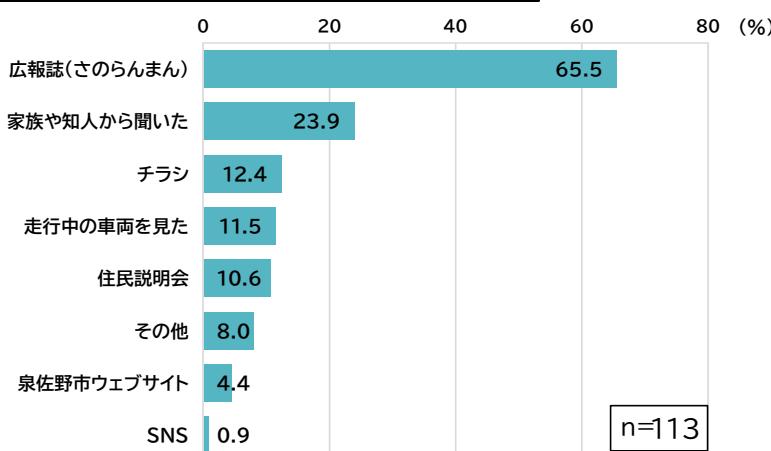
(問2、問3は、問1で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします)

問2 どこで知りましたか？ (MA)

さのタクを知った媒体は「広報誌（さのらんまん）」が65.5%と最も高く、次いで「家族や知人から聞いた」が23.9%となった。

広報誌など市民の自宅に直接届く形態の周知方法が効果的である可能性が示唆される。

No.	カテゴリー名	n	%
2	広報誌(さのらんまん)	74	65.49
6	家族や知人から聞いた	27	23.89
5	チラシ	14	12.39
7	走行中の車両を見た	13	11.5
1	住民説明会	12	10.62
8	その他	9	7.965
3	泉佐野市ウェブサイト	5	4.425
4	SNS	1	0.885
	全体	113	100



■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
65～74 歳	南中安松	役所
65～74 歳	長瀧	NTT コミュニケーションズ株式会社の横山真也様より
50～59 歳	日根野	市報もどこかに取りに行かないと見れない
65～74 歳	上之郷	町会役員会
65～74 歳	上之郷	町内の回覧板
65～74 歳	長瀧	アローズのスーパー
50～59 歳	長瀧	回覧板
50～59 歳	長瀧	長瀧駅前のポスターを見た
40～49 歳	日根野	地域包括支援センターの職員に聞いた
50～59 歳	上之郷	ご近所さんが利用しようか迷ってたのを聞いた
65～74 歳	南中安松	役所
65～74 歳	長瀧	NTT コミュニケーションズ株式会社の横山真也様より

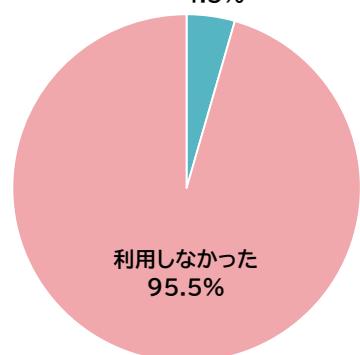
問 3 社会実験期間中、さのタクを利用されましたか？ (SA)

さのタク利用者はさのタクを知っている人の中で 4.5% (5 人) と少ない結果になった。

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用した	5	4.5
2	利用しなかった	107	95.5
	不明	1	
	非該当	277	
	全体	112	100.0

n=112

利用した
4.5%

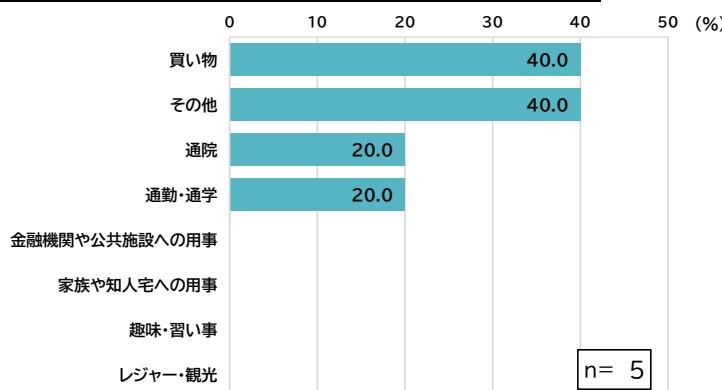


2) 社会実験期間中、さのタクを利用した方への質問

問4 利用時の主な目的を教えてください (MA)

利用目的は、「買い物」(40.0%)、「その他」(40.0%)、「通院」(20.0%)、「通勤・通学」(20.0%)の結果となった。

No.	カテゴリー名	n	%
1	買い物	2	40.0
2	通院	1	20.0
3	通勤・通学	1	20.0
4	金融機関や公共施設への用事	0	0.0
5	家族や知人宅への用事	0	0.0
6	趣味・習い事	0	0.0
7	レジャー・観光	0	0.0
8	その他	2	40.0
	不明	0	
	非該当	385	
	全体	5	100.0



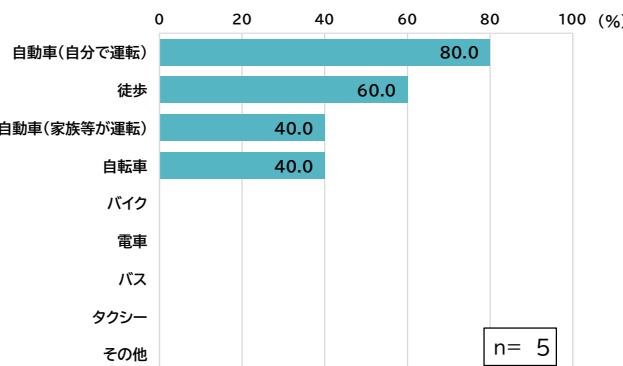
■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
50～59歳	長瀧	食事

問 5 さのタクを使って移動された目的地までは、これまでどの交通手段で移動されていましたか？(MA)

「自動車（自分で運転）」が80.0%と最も多く、次いで「徒歩」が60.0%と多かった。ふだん自家用車を自分で運転して移動している層にもさのタクを利用してもらうことができた。

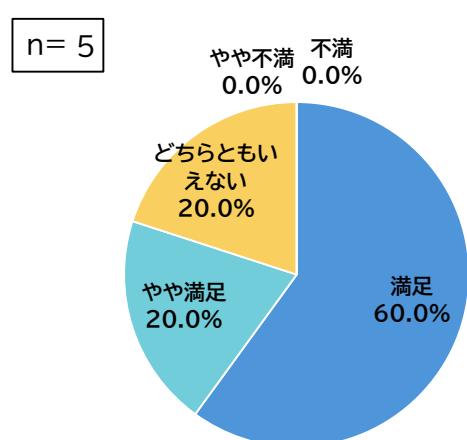
No.	カテゴリー名	n	%
1	自動車(自分で運転)	4	80.0
2	自動車(家族等が運転)	2	40.0
3	徒歩	3	60.0
4	自転車	2	40.0
5	バイク	0	0.0
6	電車	0	0.0
7	バス	0	0.0
8	タクシー	0	0.0
9	その他	0	0.0
	不明	0	
	非該当	385	
	全体	5	100.0



問 6 さのタクを利用した際の満足度を教えてください (SA)

「満足」が 60.0%と最も多かった。また「やや満足」「どちらともいえない」はいずれも 0.0%となっており、利用者には概ね満足いただけた結果となった。

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足	3	60.0
2	やや満足	1	20.0
3	どちらともいえない	1	20.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
	不明	0	
	非該当	385	
	全体	5	100.0

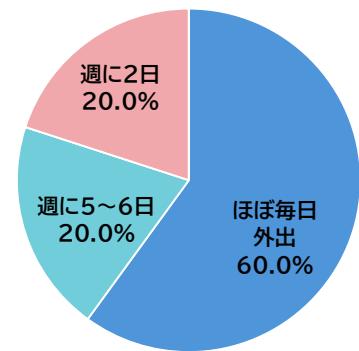


問7 社会実験開始以前（2025年2月以前）の外出頻度を教えてください（SA）

社会実験前の外出頻度は、「ほぼ毎日外出」が 60.0%と最も多く、次いで、「週に5～6日」「週に2日」が 20.0%の結果となった。

n= 5

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日外出	3	60.0
2	週に5～6日	1	20.0
3	週に3～4日	0	0.0
4	週に2日	1	20.0
5	週に1日	0	0.0
6	月に2～3日（週に1日未満）	0	0.0
7	ほとんど外出しない	0	0.0
	不明	0	
	非該当	385	
	全体	5	100.0

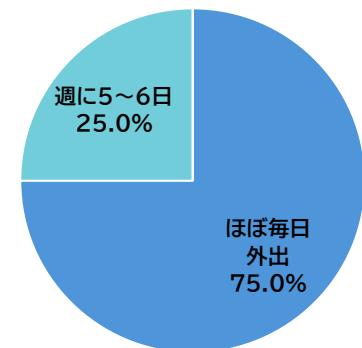


問8 社会実験期間（2025年2月1日～3月31日）の外出頻度を教えてください（SA）

社会実験中の外出頻度は、「ほぼ毎日外出」が 75.0%に増加し、社会実験前に比べて外出頻度が増加した。さのタクが地域住民の外出機会の創出に一定の効果を果たしたと考えられる。

n= 4

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日外出	3	75.0
2	週に5～6日	1	25.0
3	週に3～4日	0	0.0
4	週に2日	0	0.0
5	週に1日	0	0.0
6	月に2～3日（週に1日未満）	0	0.0
7	ほとんど外出しない	0	0.0
	不明	1	
	非該当	385	
	全体	4	100.0

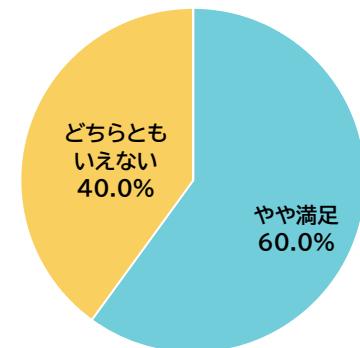


問9 社会実験開始以前（2025年2月以前）の日常生活の満足度を教えてください。（SA）

社会実験前の日常生活に関する満足度は、「やや満足」が 60.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 40.0%であった。

n= 5

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足	0	0.0
2	やや満足	3	60.0
3	どちらともいえない	2	40.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
	不明	0	
	非該当	385	
	全体	5	100.0



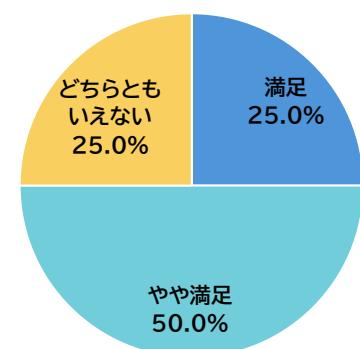
問10 社会実験期間（2025年2月1日～3月31日）の日常生活の満足度を教えてください。（SA）

社会実験中の日常生活に関する満足度は、「やや満足」が 50.0%と最も多く、次いで「満足」「どちらともいえない」がそれぞれ 25.0%であった。

さのタクの運行によって外出へのハードルが下がり、市民の日常生活に関する満足度向上に貢献したものと考えられる。

n= 4

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足	1	25.0
2	やや満足	2	50.0
3	どちらともいえない	1	25.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
	不明	1	
	非該当	385	
	全体	4	100.0

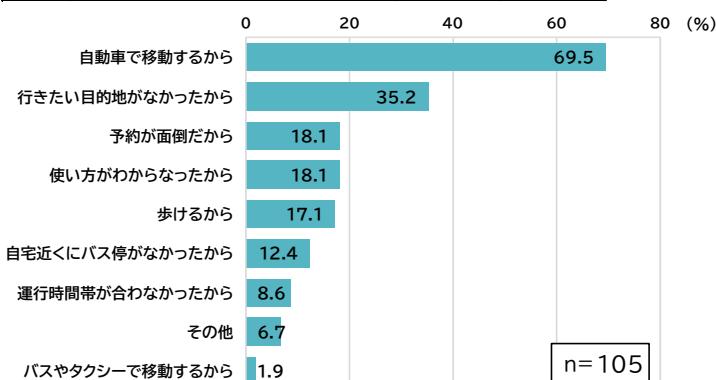


3) 社会実験期間中、さのタクを利用しなかった方への質問

問11 利用しなかった理由を教えてください (MA)

利用しなかった理由は、「自動車で移動するから」が 69.5%と最も多く、次いで「行きたい目的地がなかったから」が 12.4%と多かった。自家用車やタクシーのように柔軟な移動が可能なサービスではなかったこと、限られたエリアでの実験となつたためふだん自家用車で移動している層にとっては行きたい目的地がなかったことが推察される。

No.	カテゴリー名	n	%
1	行きたい目的地がなかったから	37	35.2
2	自宅近くにバス停がなかったから	13	12.4
3	運行時間帯が合わなかったから	9	8.6
4	予約が面倒だから	19	18.1
5	自動車で移動するから	73	69.5
6	バスやタクシーで移動するから	2	1.9
7	歩けるから	18	17.1
8	使い方がわからなったから	19	18.1
9	その他	7	6.7
	不明	2	
	非該当	283	
	全体	105	100.0



■ その他の回答内容

※知らなかったと回答があるが、問1でさのタクについて既知か確認しており、回答ミスか（実証実験期間中は）知らなかったものと考えられる

年齢	お住まい	回答内容
75歳以上	長瀧	夫に乗せてもらう
65～74歳	上之郷	運転できなくなれば利用するでしょう
30～39歳	上之郷	日曜日も運行してください
75歳以上	上之郷	知らなかった
75歳以上	長瀧	バイクで移動するから
75歳以上	南中安松	知らなかった
60～64歳	長瀧	地域が限られていた
65～74歳	南中安松	知らなかった
65～74歳	上之郷	行きたい所へのルートがない
65～74歳	長瀧	さのタク、初めて知りました
65～74歳	日根野	知らなかったため
65～74歳	長瀧	特に利用する必要がなかったから

年齢	お住まい	回答内容
65～74 歳	日根野	さのタクのことを知らなかった
75 歳以上	長瀧	全く知らなかった
40～49 歳	日根野	高齢の父母に勧めて利用してもらいました
50～59 歳	上之郷	タイミング

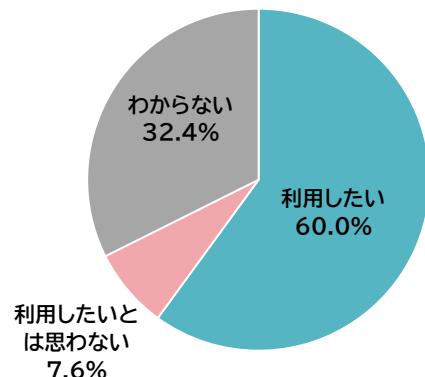
問 12 今後、上記の不満等が解消され、より便利な移動手段となった場合、利用したいと思いますか？(SA)

さのタクがより便利な移動手段になった場合の利用意向は、「利用したい」が 60.0%と最も多く、次いで「わからない」が 32.4%と多い。

今後、目的地を増やすなどしてサービス水準を上げることによって利用者が増加する見込みがある。また、自家用車に乗れなくなった場合の移動手段として利用される可能性がある。

n=105

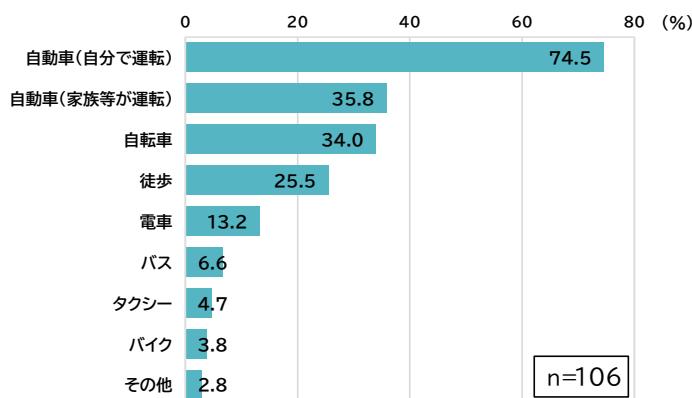
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用したい	63	60.0
2	利用したいとは思わない	8	7.6
3	わからない	34	32.4
	不明	2	
	非該当	283	
	全体	105	100.0



問13 ふだんの買い物・通勤・通学・通院等の日常的な移動における主な移動手段を教えてください (MA)

ふだんの日常的な移動手段は、「自動車（自分で運転）」が74.5%と最も多く次いで「自動車（家族等が運転）」(35.8%)「徒歩」(25.5%)が同程度に多い。公共交通を利用して移動する層は少なく、自動車の運転や送迎を主な交通手段としている。

No.	カテゴリ名	n	%
1	自動車(自分で運転)	79	74.5
2	自動車(家族等が運転)	38	35.8
3	徒歩	27	25.5
4	自転車	36	34.0
5	バイク	4	3.8
6	電車	14	13.2
7	バス	7	6.6
8	タクシー	5	4.7
9	その他	3	2.8
	不明	1	
	非該当	283	
	全体	106	100.0



■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
75歳以上	長瀧	ヘルパーさん
65~74歳	長瀧	必要な時に来てもらう

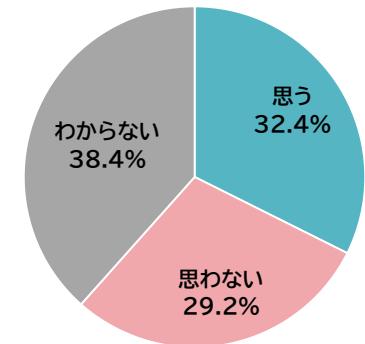
4) さのタクを知らない方への質問

問14 社会実験を知っていた場合、利用してみたかったと思いますか？(SA)

社会実験を知っていた場合の利用意向は、「わからない」が38.4%と最も多く、次いで「思う」(知っていたら利用してみたかった)が32.4%となっている。広く周知することで、利用者数を伸ばすことができるものと考えられる。

n= 281

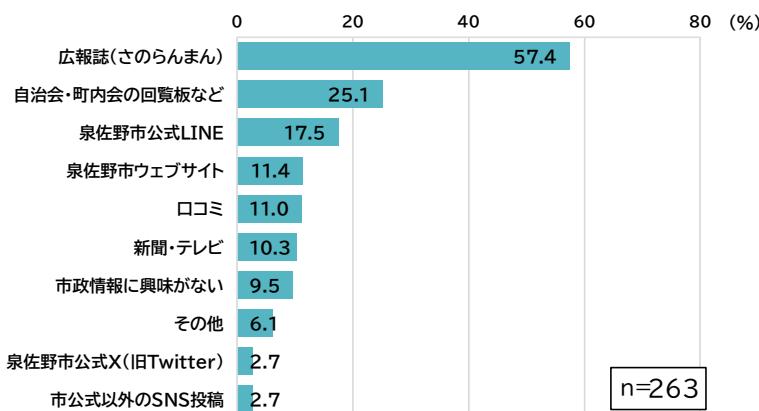
No.	カテゴリー名	n	%
1	思う	91	32.4
2	思わない	82	29.2
3	わからない	108	38.4
	不明	89	
	非該当	20	
	全体	281	100.0



問15 ふだん、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか？（MA）

「広報誌（さのらんまん）」が57.4%と最も多く、次いで「自治会・町内会の回覧板など」が25.1%と多かった。ウェブサイトやSNSを利用して市政情報を入手している層は少なく、市民への広報手段としては引き続き広報誌を活用していくことが有効である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	広報誌（さのらんまん）	151	57.4
2	泉佐野市ウェブサイト	30	11.4
3	泉佐野市公式LINE	46	17.5
4	泉佐野市公式X（旧Twitter）	7	2.7
5	自治会・町内会の回覧板など	66	25.1
6	新聞・テレビ	27	10.3
7	市公式以外のSNS投稿	7	2.7
8	口コミ	29	11.0
9	市政情報に興味がない	25	9.5
10	その他	16	6.1
	不明	10	
	非該当	117	
	全体	263	100.0



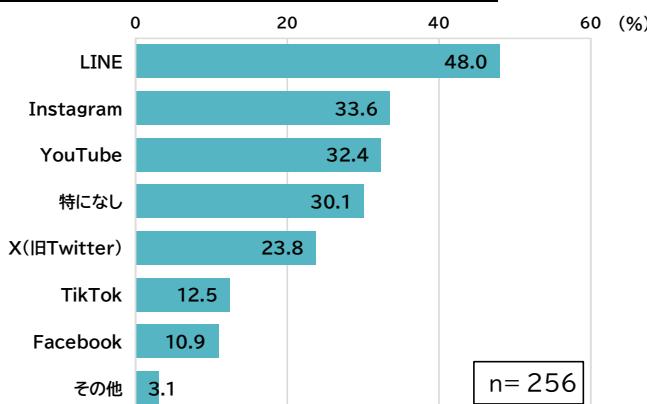
■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
65～74歳	長瀬	商工会議所からの情報
75歳以上	長瀬	チラシ etc
75歳以上	長瀬	得ていない
50～59歳	日根野	広報泉佐野
75歳以上	上之郷	町の（上ノ郷の隣組には入っていないから）情報は得られない
75歳以上	日根野	市報
50～59歳	日根野	市報が届かなくなつてなかなか知れない
～29歳	長瀬	さのテレ！
30～39歳	日根野	LINE あるのを知らなかつた
50～59歳	日根野	大体後日に知る
30～39歳	日根野	学校などからのお知らせ

問16 市政情報に限らず、情報入手に使っているSNSを教えてください（MA）

市政情報に限らない情報入手に使用しているSNSは「LINE」が48.0%と最も多く、次いで「Instagram」(33.6%)、「YouTube」(32.4%)が多い。LINEを情報収集に使う市民が多い中、泉佐野市には公式LINEがあるので、今後の情報発信に役立てていく必要がある。

No.	カテゴリー名	n	%
1	LINE	123	48.0
2	X(旧Twitter)	61	23.8
3	Facebook	28	10.9
4	Instagram	86	33.6
5	TikTok	32	12.5
6	YouTube	83	32.4
7	特になし	77	30.1
8	その他	8	3.1
	不明	17	
	非該当	117	
	全体	256	100.0



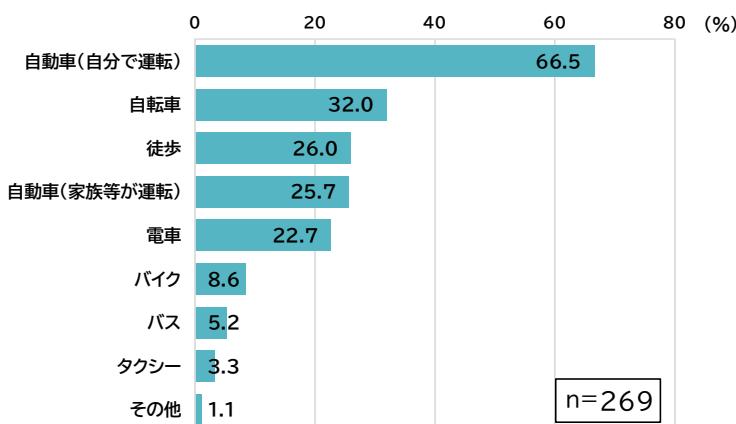
■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
65～74歳	長瀧	メール
50～59歳	日根野	自分で調べに行かないといけない
65～74歳	南中安松	YAHOO!
75歳以上	長瀧	ラジオ・TV
65～74歳	長瀧	市役所にて
40～49歳	長瀧	スレッズ
50～59歳	南中安松	webサイト
30～39歳	日根野	Threads;
60～64歳	長瀧	インターネット

問17 ふだんの買い物・通勤・通学・通院等の日常的な移動における主な移動手段を教えてください (MA)

ふだんの日常的な移動の主な移動手段は、「自動車（自分で運転）」が 66.5%と最も多く、次いで「自転車」が 25.7%と多い。公共交通は「電車」のみ 22.7%の利用があるものの、バスやタクシーの利用率は低い傾向にある。

No.	カテゴリー名	n	%
1	自動車(自分で運転)	179	66.5
2	自動車(家族等が運転)	69	25.7
3	徒歩	70	26.0
4	自転車	86	32.0
5	バイク	23	8.6
6	電車	61	22.7
7	バス	14	5.2
8	タクシー	9	3.3
9	その他	3	1.1
	不明	4	
	非該当	117	
	全体	269	100.0



■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
50～59歳	上之郷	コミュニティバス
75歳以上	南中安松	看護タクシー
50～59歳	日根野	歩いて買い物できる所がない、病院も
75歳以上	南中安松	近くは③④、④は杖がわり

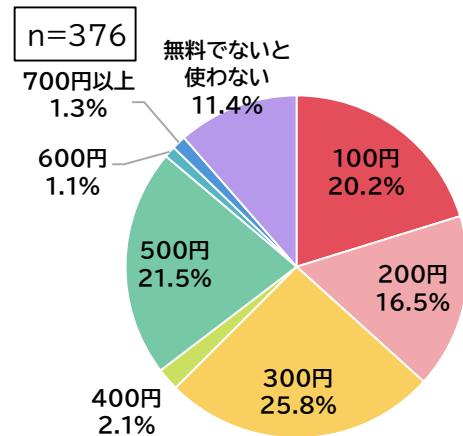
5) すべての方へのデマンド乗合交通に関する質問

問18 社会実験期間は無料でしたが、今後有料化して運行されたとしたら、

いくらまでなら利用したいと思いますか？ ※1人あたり1回の運賃 (SA)

デマンド型交通を有料化して運行する場合の妥当な金額は、「300円」が25.8%と最も多く、次いで「500円」が21.5%と多かった。乗車時アンケートでは、100~200円を要望する声が多かったが、利用していない層も含めて市民全体の意向としては500円程度払っても利用を見込める結果となった。

No.	カテゴリー名	n	%
1	100円	76	20.2
2	200円	62	16.5
3	300円	97	25.8
4	400円	8	2.1
5	500円	81	21.5
6	600円	4	1.1
7	700円以上	5	1.3
8	無料でないと使わない	43	11.4
	不明	14	
	全体	376	100.0

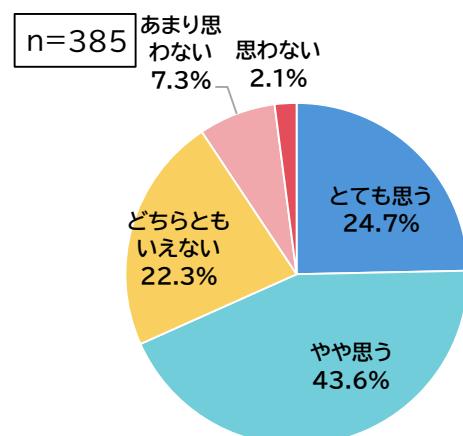


問19 今後、さのタクのようなデマンド乗合交通が定着した場合、

地域住民の生活の質は向上すると思いますか？ (SA)

「やや思う」が43.6%と最も多く、次いで「とても思う」が24.7%と多かった。約7割の市民には、住民の生活の質向上に資するサービスであると評価されている。

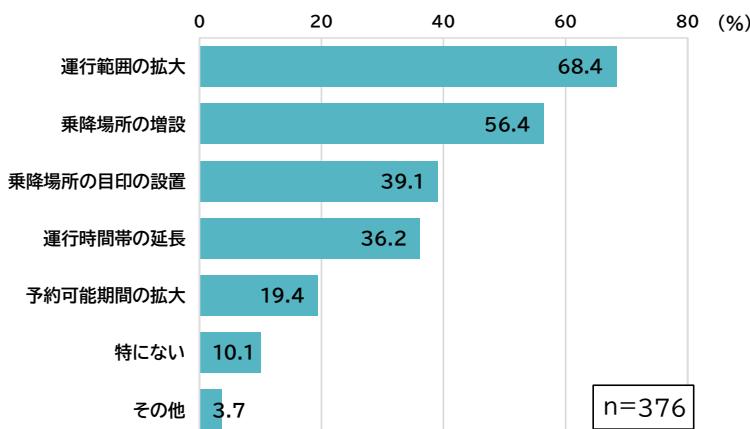
No.	カテゴリー名	n	%
1	とても思う	95	24.7
2	やや思う	168	43.6
3	どちらともいえない	86	22.3
4	あまり思わない	28	7.3
5	思わない	8	2.1
	不明	5	
	全体	385	100.0



問20 デマンド乗合交通に対するご要望があれば教えてください (MA)

デマンド乗合交通に対する要望は、「運行範囲の拡大」が 68.4%と最も多く、次いで「乗降場所の増設」が39.1%と多かった。より広い範囲で多様な目的地に移動できるサービスが求められている。

No.	カテゴリ名	n	%
1	運行範囲の拡大	257	68.4
2	乗降場所の目印の設置	147	39.1
3	運行時間帯の延長	136	36.2
4	乗降場所の増設	212	56.4
5	予約可能期間の拡大	73	19.4
6	特にない	38	10.1
7	その他	14	3.7
	不明	14	
	全体	376	100.0



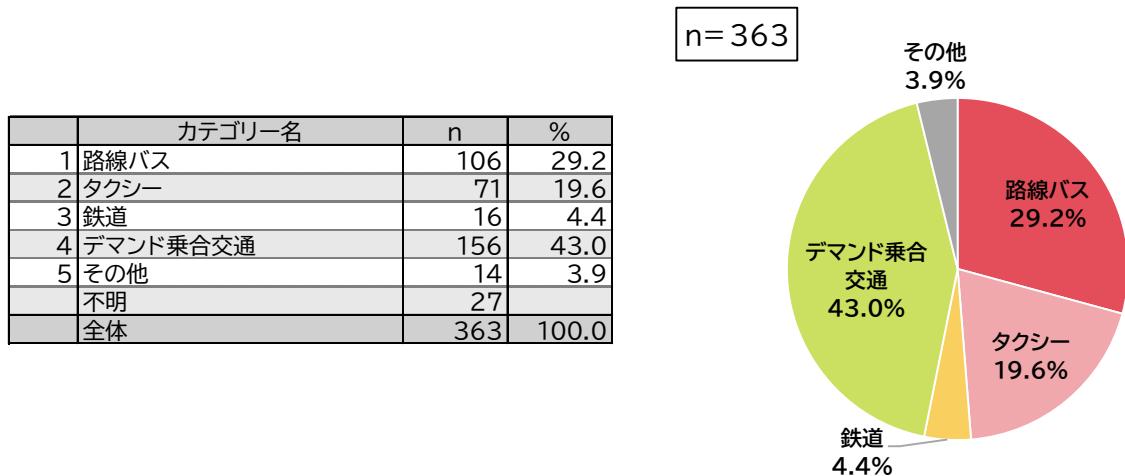
■ 他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
30~39歳	長瀧	路面の破損調査も並行するなど
60~64歳	長瀧	予約アプリの使いやすさ
50~59歳	日根野	親切
30~39歳	上之郷	目的地の自由化
50~59歳	日根野	行き先・搭乗場所の明確化
75歳以上	長瀧	乗りたくない
50~59歳	日根野	病院にもいきたい、後期高齢になつたらどこにもいけない。
75歳以上	南中安松	目的を高齢者などにしほる。
75歳以上	上之郷	日根野駅まで拡大してほしいです。医療機関が多いし、JA、銀行も行きたい。
50~59歳	南中安松	利用の仕方を教えてほしい
50~59歳	長瀧	高齢者が利用する事が多くなると思うので体に負担のないように考えてほしいです。
75歳以上	長瀧	こんなことをすると知らせてほしい、全く知らなかつた
~29歳	長瀧	市民への周知、知らない人が多い（ほとんどの人が知らない）
30~39歳	日根野	料金が無料、または安い
~29歳	日根野	今回の運行エリア外居住の為よくわからない。

問21 お住いの地域にとって将来的に最も必要だと思う移動手段を教えてください (SA)

「デマンド乗合交通」が43.0%と最も多く、次いで「路線バス」が29.2%と多かった。多くの市民にデマンド乗合交通の導入を求められており、便利な交通手段と認識されたことが示唆される。

その他の回答には、コミュニティバスの利便性向上や新たな交通サービスを求める声もあった。



■ その他の回答内容

年齢	お住まい	回答内容
65~74歳	長瀧	自分で運転出来なくなったら 4. デマンド乗合交通が助かると思う。
40~49歳	長瀧	地域のコミュニティバスが目的地まで行くのに時間がかかりすぎる。便を増やすというより、短距離のバスを運行してほしい
75歳以上	南中安松	現在のコミュニティバス
75歳以上	日根野	電動モバイルの活用
30~39歳	上之郷	タクシーのように自宅や目的地まで送迎してもらえて、バスのように低価格な料金の利用しやすい移動手段があれば不便な地域のお年寄りや足の悪い方、妊婦さん、小さいお子様連れの方等が助かると思います。「泉佐野市民証」等の提示で区別。市外の方、忘れた方は一般タクシー料金で。
50~59歳	日根野	南海バスの通っていない所にもバスか何かがいる
75歳以上	長瀧	コミュニティバスの増便
60~64歳	日根野	自転車
65~74歳	長瀧	コミュニティバスの充実
75歳以上	日根野	乗合タクシー、老人はバス停まで行けない
50~59歳	長瀧	カーシェア・シェアバイク・デマンド交通
75歳以上	南中安松	高齢者の年金暮らしには④がたすかります。
50~59歳	長瀧	ライドシェア

4. クロス集計

1) さのタクの利用について

問1 2025年2月1日～3月31日まで社会実験を実施していたさのタクをご存じですか？(SA)

65～74歳、次いで75歳以上の認知度が高く、自治会を通して実施した説明会等の効果が現れている。一方で、どの世帯も認知度は半数以下に留まっており、市民への周知方法には課題が残っている。

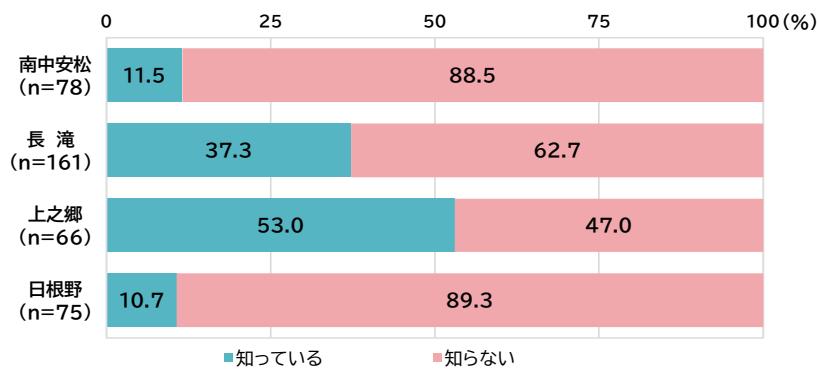
地域別では、上之郷の認知度が53.0%と最も高く、次いで長滝が37.3%と高い。南中安松、日根野については一部での運行であったため認知度は低い結果となった。

自動車の利用状況をみると、運転する層の方が認知度が高く、自動車での移動が困難な高齢者へ認知されるにいたらなかった可能性がある。自動車を運転できない層は外出機会が少なく、説明会や自治会の活動等にも参加できなかった可能性がある。

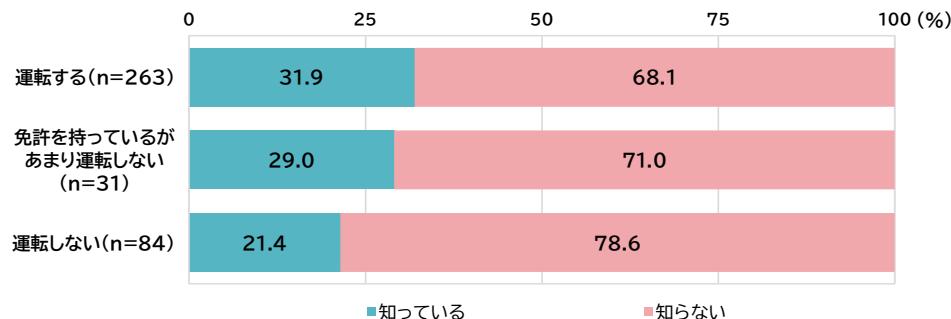
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



(問2、問3は、問1で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします)

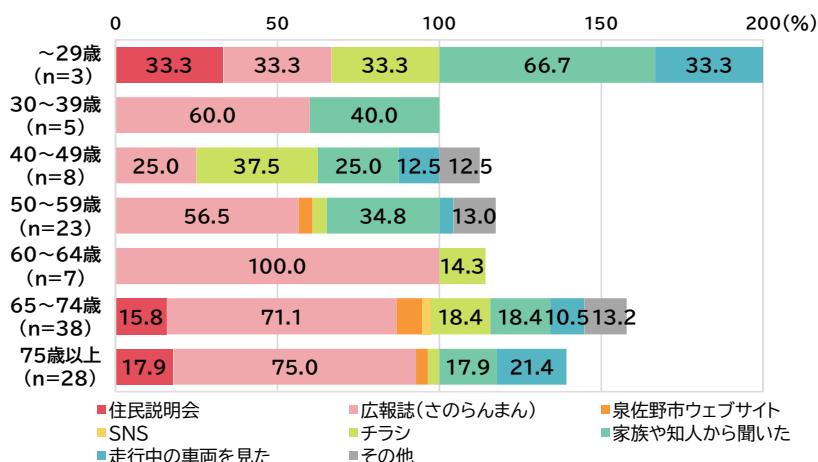
問2 どこで知りましたか？(MA)

さのタクを知った媒体は、若いほど「家族や知人から聞いた」割合が高い。広報誌などを目にする機会が少ないため、口コミでしか情報が伝わっていないことが推察される。ほとんどの市民が「広報誌」で情報を得ており、広報誌が有効な市政情報を伝達ツールである一方、広報誌を見ない層への周知方法は検討していく必要がある。

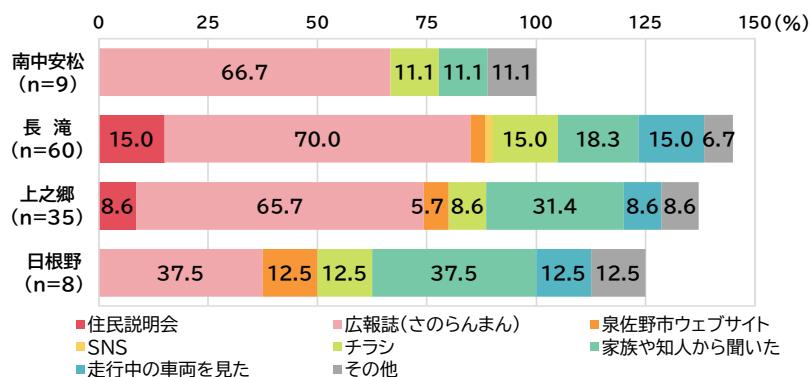
地区別にみると、日根野で「家族や知人から聞いた」割合が高くなっている。

自動車の利用状況別にみると、自動車を運転しない層の方が「家族や知人から聞いた」割合が高く、普段移動手段を持たないため周囲から利用を勧められているものと考えられる。

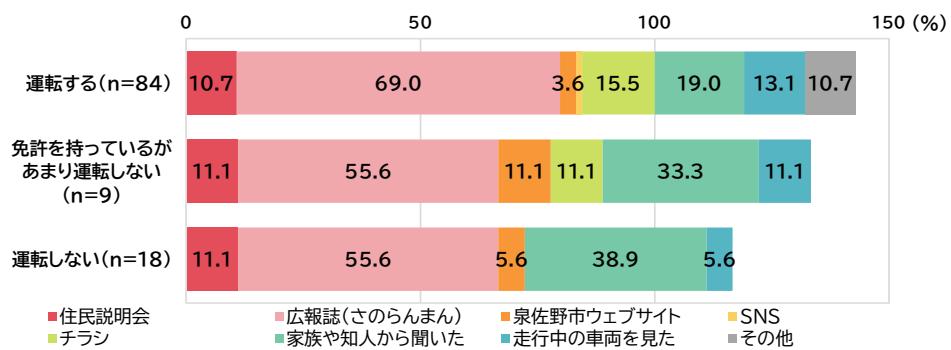
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



2) 社会実験期間中、さのタクを利用しなかった方への質問

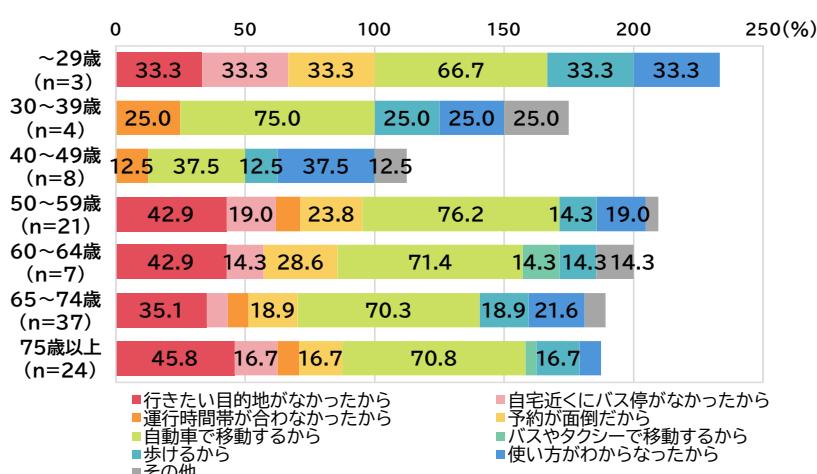
問11 利用しなかった理由を教えてください (MA)

49歳以下で「運行時間帯が合わなかったから」「使い方がわからなかったから」の割合が高い傾向にある。さのタクの運行時間帯の平日日中は仕事等で外出しており、利用ができなかったものと考えられる。一方、使い方がわからなかったのは、口コミで存在は知っていたもののチラシやパンフレットなど利用方法に関する情報まで伝達することができなかったことに起因すると考えられ、改善の余地がある。

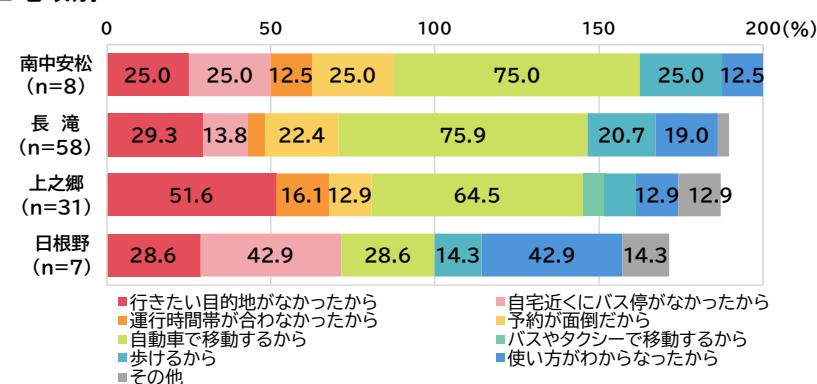
地域別では、上之郷で「行きたい目的地がなかったから」の割合が高かった。上之郷では、生活圏が日根野方面に広がっているものと考えられ、普段の買い物・通院先が今回の実証実験エリアに含まれていなかつたと考えられる。また、日根野で「自宅近くにバス停がなかったから」「使い方がわからなかつたから」との回答が多く、日根野は一部エリアでしか運行していなかつたため説明会の実施回数も少なかつたことが要因として考えられる。

自動車を運転する層は、「自動車で移動するから」の割合が高く、自動車で移動しない層は、「自宅近くにバス停がなかったから」「運行時間帯が合わなかつたから」「使い方がわからなかつたから」の割合が高く、より利用しやすいサービスにするための工夫が必要である。

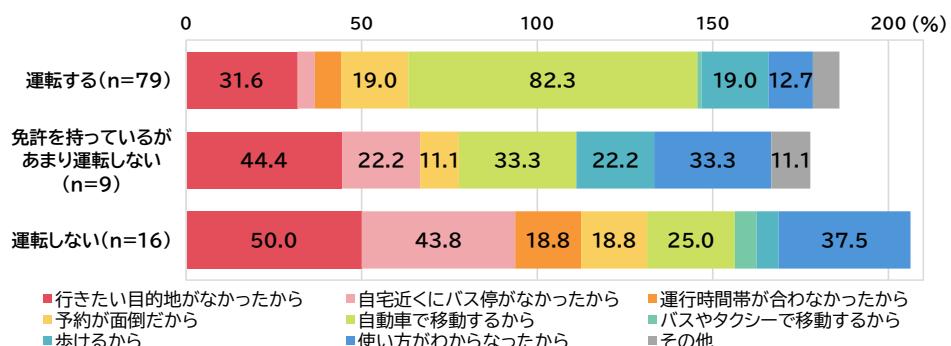
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



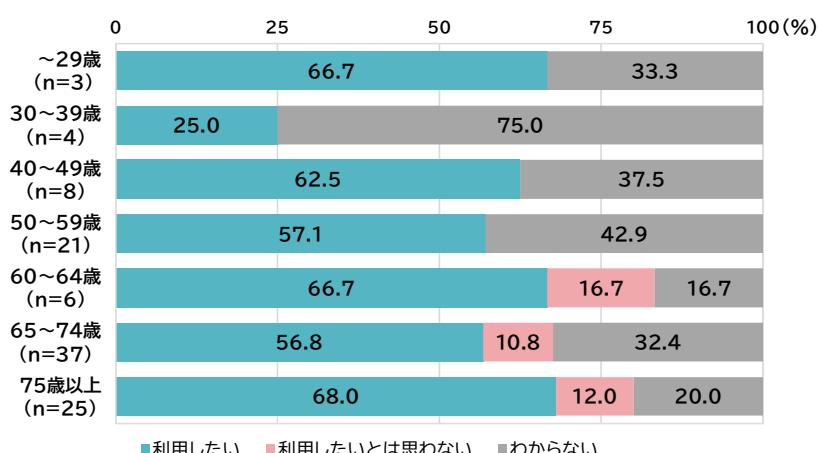
問12 今後、上記の不満等が解消され、より便利な移動手段となった場合、利用したいと思いますか？(SA)

さのタクのサービスが改善した場合の利用意向に関して、「利用したいと思わない」と回答しているのは60歳以上ののみとなっている。

地域別では「長滝」「上之郷」の主な運行エリアにお住まいの方から利用したくない意向があった。南中安松、日根野に比べて回答者の母数が多いことも要因の1つだが、実際に運行していたエリアで利用したいと思わないという意向が現れていますことについては注目して分析していく必要がある。利用したくないと回答している方の利用しなかった理由としては、「行きたい目的地がなかったから」が多く、長滝や上之郷にお住まいの方の移動目的地を考慮していく必要がある。

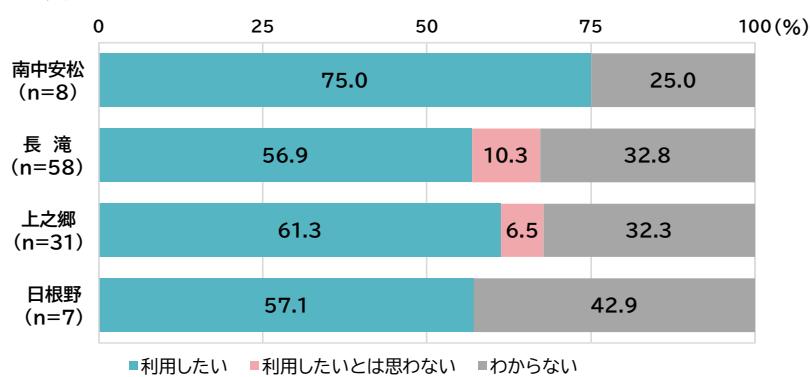
自動車を運転しない層の方が利用意向は高いが、運転しないのうち 11.8 %が「利用したいとは思わない」としており、自分で運転できず移動手段が限られているにも関わらず利用に対して後ろ向きな方も一定数存在している。

■年齢別



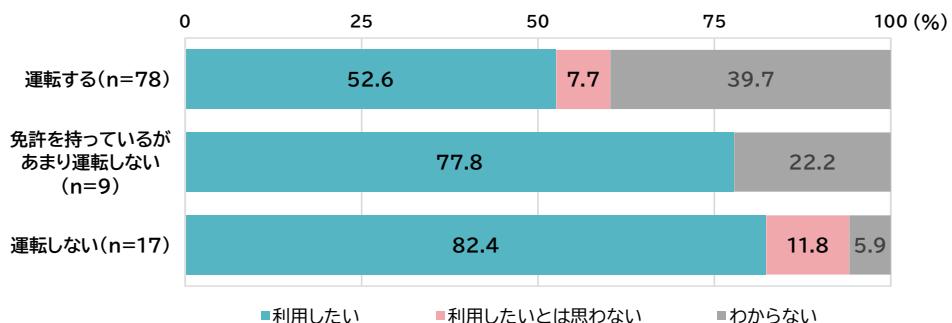
■利用したい ■利用したいとは思わない ■わからない

■地域別



■利用したい ■利用したいとは思わない ■わからない

■自動車の利用状況



■利用したい ■利用したいとは思わない ■わからない

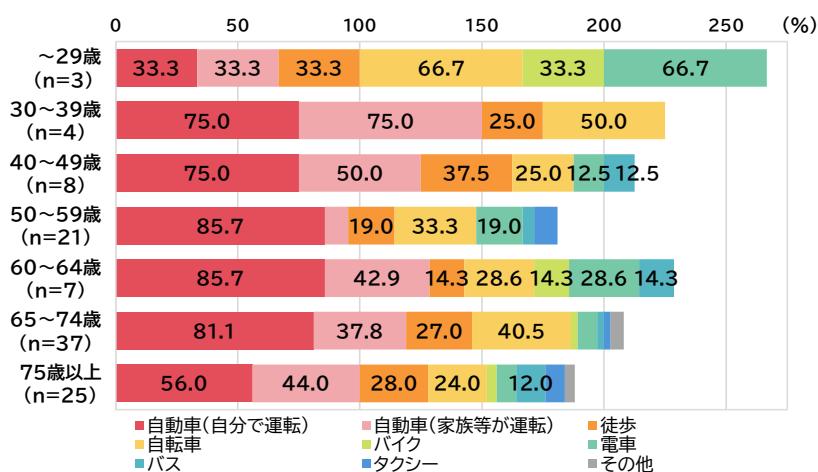
問13 ふだんの買い物・通勤・通学・通院等の日常的な移動における主な移動手段を教えてください (MA)

いずれの層も自自動車で移動する割合が高いが、75歳以上になると自分で運転する割合が低くなっている。一方で、75歳以上の公共交通を利用している割合が高いわけではなくさのタクを利用しなかった高齢者は、普段から公共交通を利用していない層であると考えられる。

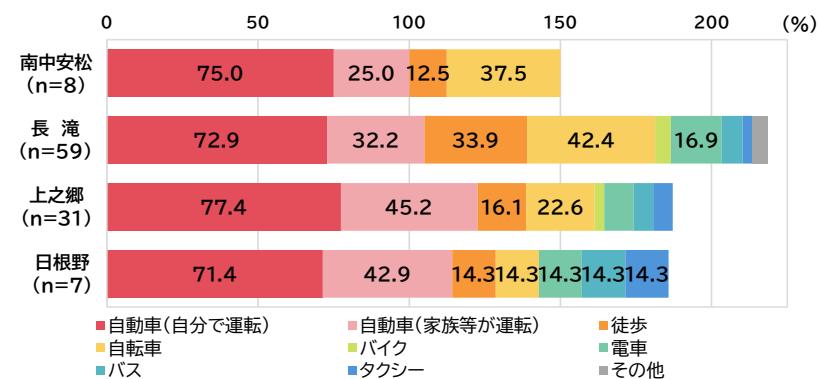
地域別では、南中安松、長瀧で「自転車」の割合が高く、上之郷、日根野で「自動車（家族等が運転）」の割合が高い傾向にあった。

自動車の利用状況別にみると、運転しない層は徒歩や自転車の割合も低く、バスやタクシーの割合が高い傾向にあるため、その多くは後期高齢者であることが予想される。

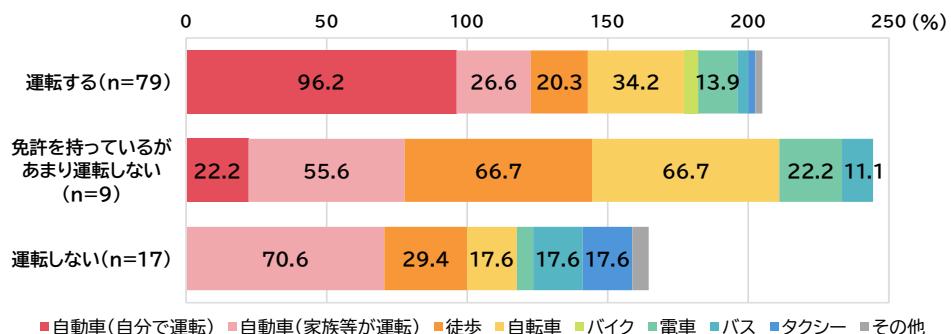
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



4) さのタクを知らない方への質問

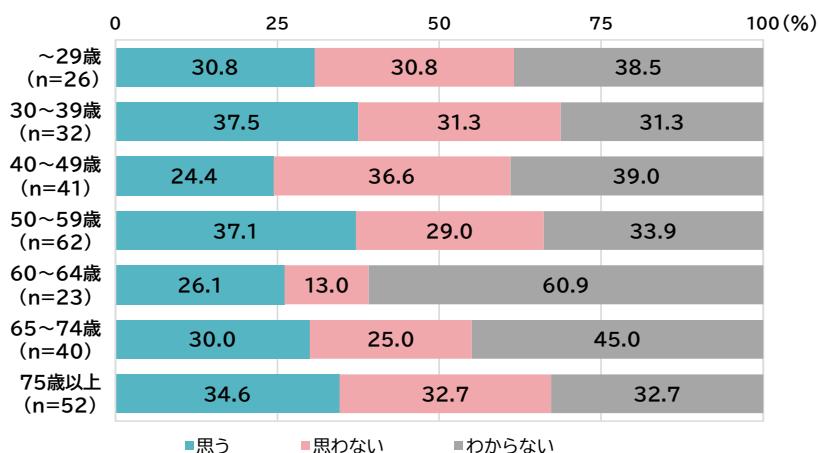
問14 社会実験を知っていた場合、利用してみたかったと思いますか？(SA)

60～64歳で「わからない」の割合が高く、「思わない」の割合が低い。高齢になりつつあり、移動手段に不安を抱え始める世代としてデマンド型交通に対する否定的な以降は少ないものと考えられる。一方で、高齢になっても利用意向が高くなるわけではなく、高齢者が求める移動手段の形を模索していく必要がある。

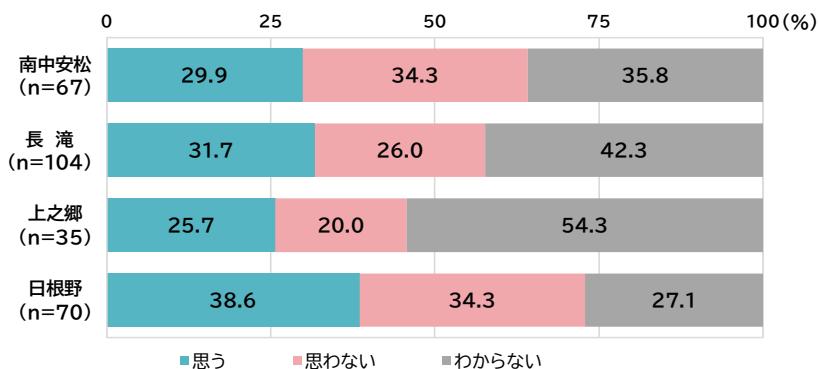
地域別にみると、日根野で利用意向が高く、上之郷で「わからない」と回答する割合が高かった。

自動車の利用状況別でみると、運転しない層の方が利用意向は高いものの運転する層と約10ポイント程度しか差がく運転できない層にとって利用したいと思われるサービスを検討する必要がある。

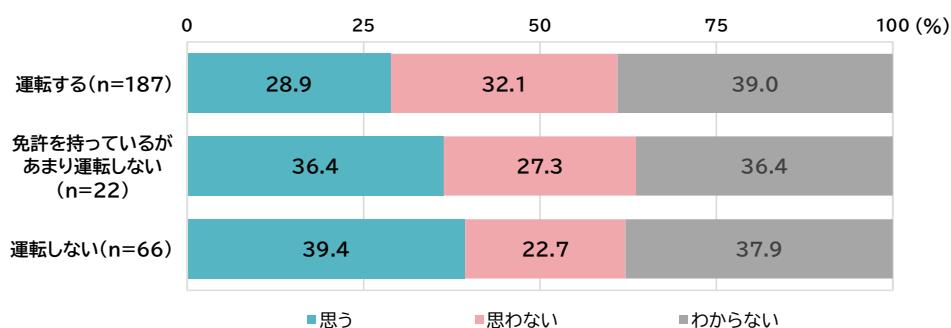
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



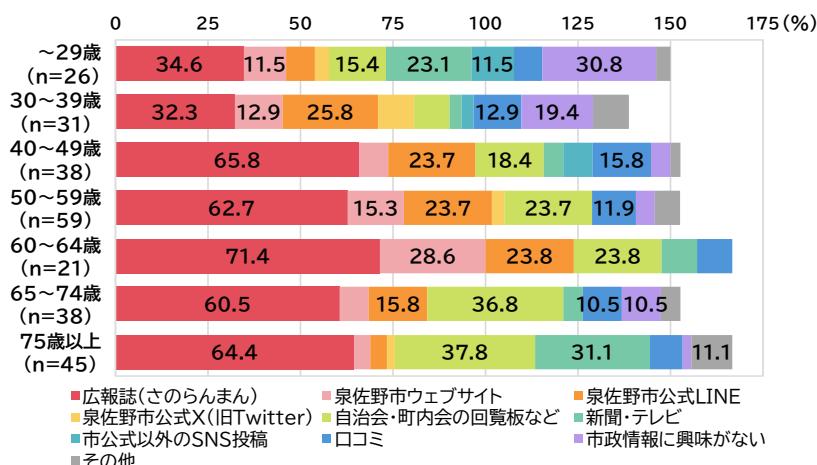
問15 ふだん、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか？（MA）

39歳以下で「市政情報に興味がない」割合が高く、40歳以上は「広報誌（さのらんまん）」から市政情報を得ている割合が高い。高齢になるほど「自治会・町内会の回覧板など」割合が高く、29歳以下と75歳以上は他の年齢層に比べて「新聞・テレビ」の割合も高かった。広報誌、回覧板、新聞・テレビなどの手段を有効に活用していく必要があるが、若者に市政情報を周知する手段については検討する必要がある。

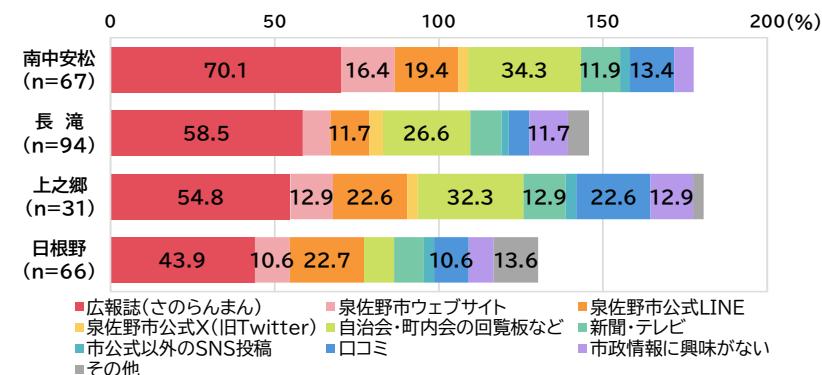
地域別では、南中安松で「広報誌（さのらんまん）」、「自治会・町内会の回覧板など」の割合が高く、上之郷で「口コミ」が他の地域に比べて高かった。日根野はどの媒体も他の地域に比べて低い傾向があり、どういった方法が有効か検討する必要がある。

自動車の利用状況別では、運転する層で「泉佐野市公式LINE」の割合が他と比べて高く、運転しない層は「新聞・テレビ」が運転する層に比べて高かった。世代の違いが表れているものと考えられる。

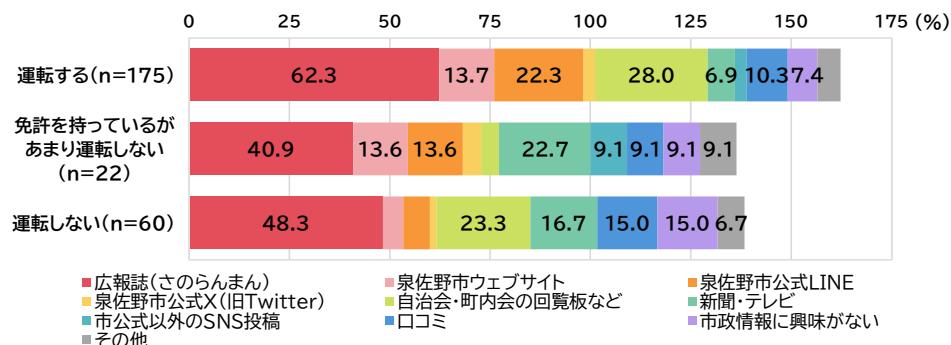
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



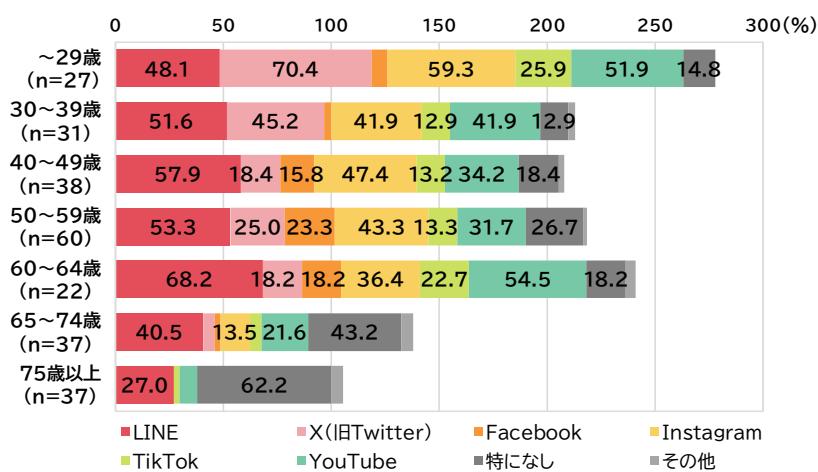
問16 市政情報に限らず、情報入手に使っているSNSを教えてください（MA）

29歳以下は、「X(旧Twitter)」や「Instagram」、「YouTube」の割合が高い傾向にある。65歳以上になるとSNSの利用率は急激に下がるので、広報媒体はSNSと従来の広報誌などを併用していく必要がある。

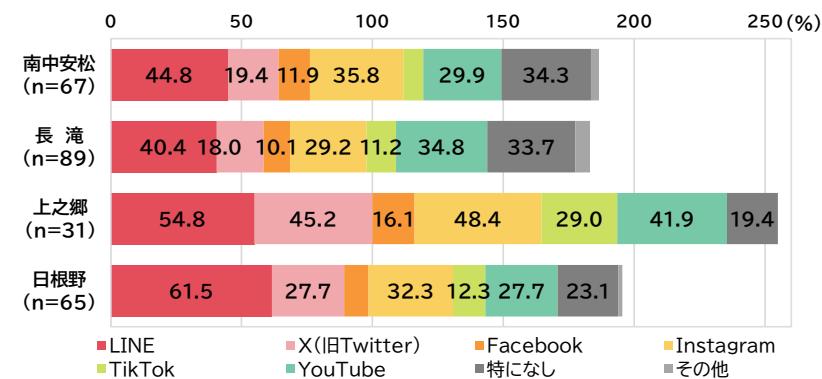
地域別では、上之郷で「X(旧Twitter)」、「Instagram」、「TikTok」の割合が高かった。また、日根野では「LINE」の割合が高かった。

免許を持っているがあまり運転しない層は「X(旧Twitter)」の割合が高かった。運転しない層は他に比べてSNSを利用していない割合も高かった。

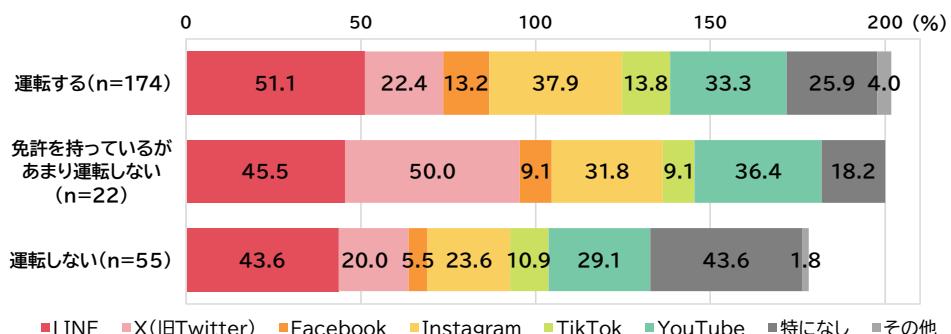
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



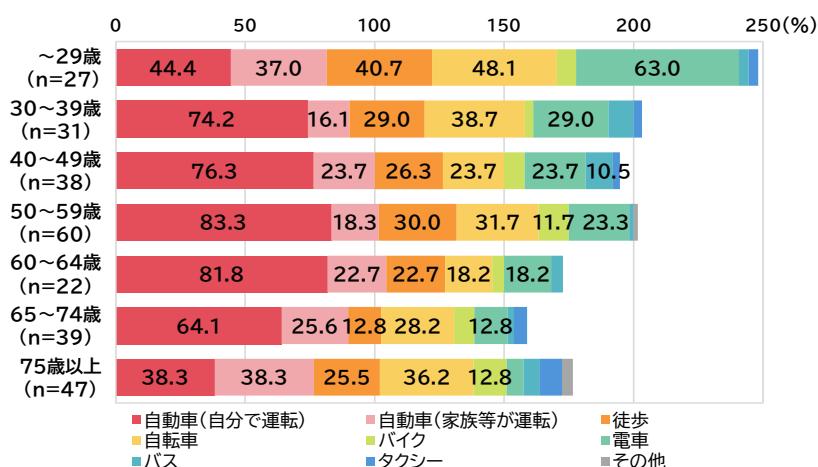
問17 ふだんの買い物・通勤・通学・通院等の日常的な移動における主な移動手段を教えてください (MA)

29歳以下は、「自動車（自分で運転）」の割合が低く、徒歩、自転車、電車の割合が高かった。30~64歳は「自動車（自分で運転）」の割合が高い傾向にある。「電車」は若いほど利用している傾向があり、「バイク」は75歳以上が最も高い結果となった。

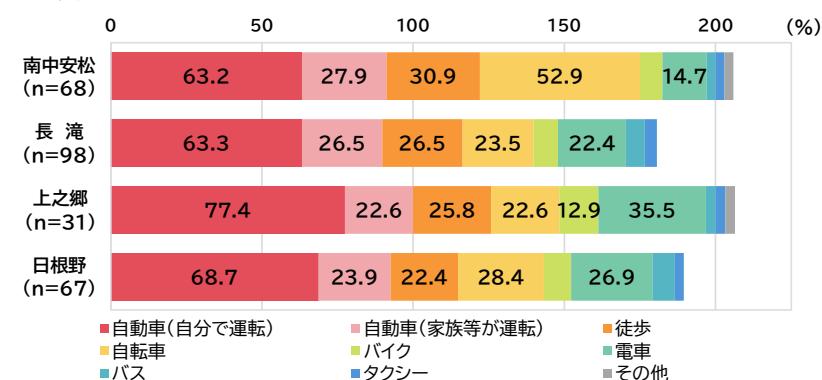
地域別では、南中安松で「徒歩」、「自転車」の割合が高く、上之郷で「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高かった。

自動車の利用状況別でみると、運転しない層は「自転車」や「バス」を利用する割合が高い傾向にある。

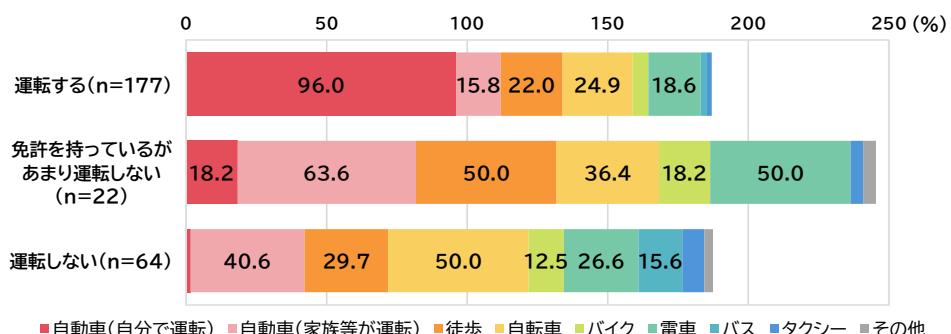
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



■自動車(自分で運転) ■自動車(家族等が運転) ■徒歩 ■自転車 ■バイク ■電車 ■バス ■タクシー ■その他

5) すべての方へのデマンド乗合交通に関する質問

問18 社会実験期間は無料でしたが、今後有料化して運行されたとしたら、

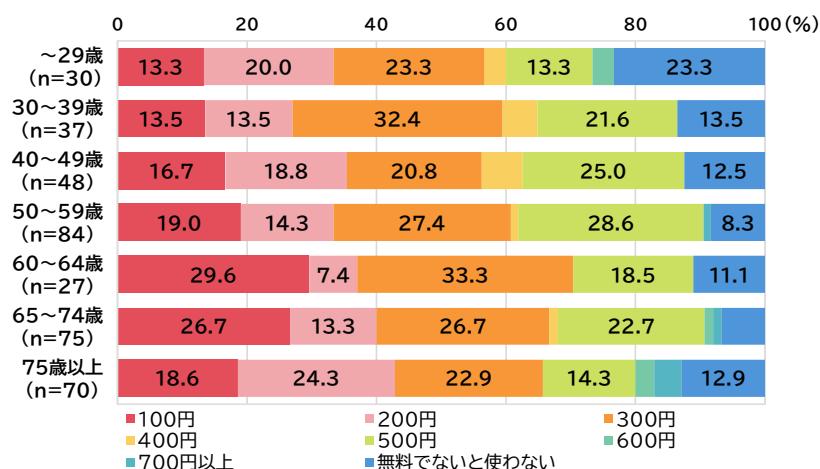
いくらまでなら利用したいと思いますか？ ※1人あたり1回の運賃 (SA)

29歳以下は「無料でないと使わない」割合が高い結果となった。30~59歳は300円、500円程度までの支払い意向を示しており、60~74歳は100円、300円の割合が高かった。75歳以上は200円~300円を望んでいるが、600円、700円は他の年齢層よりも高い傾向にあった。移動に困っているため、多少高額でも利用してみたいと考えている層がいるものと考えられる。

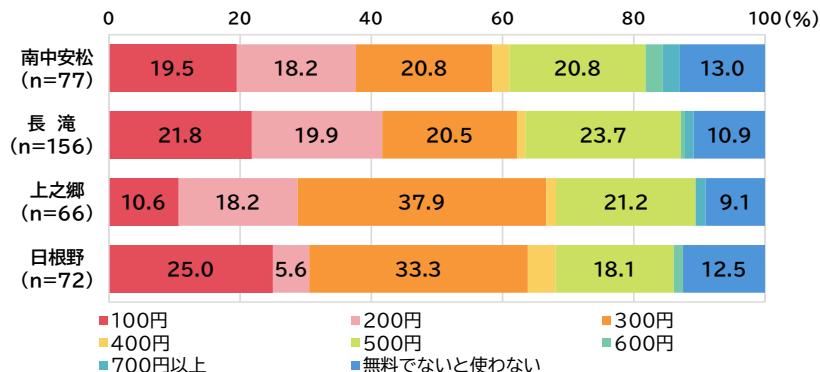
地域別では、上之郷、日根野で「300円」の割合がたっかう、長滝で「500円」の割合が高かった。

免許を持っているがあまり運転しない層は支払っても良いと思う金額が他の層に比べて低めで、「無料でないと使わない」割合が高かった。

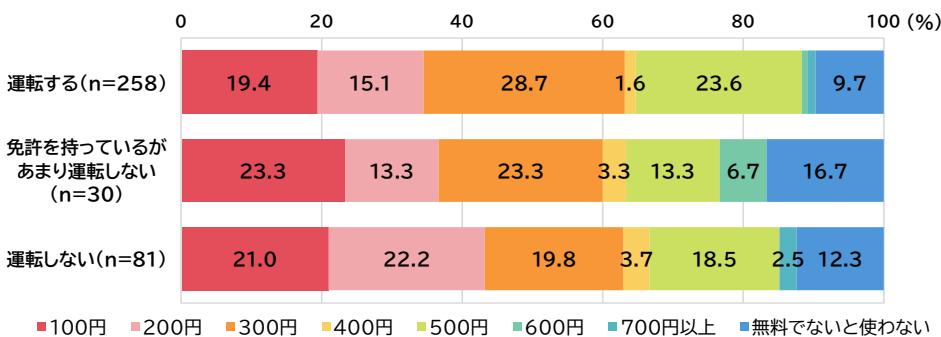
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



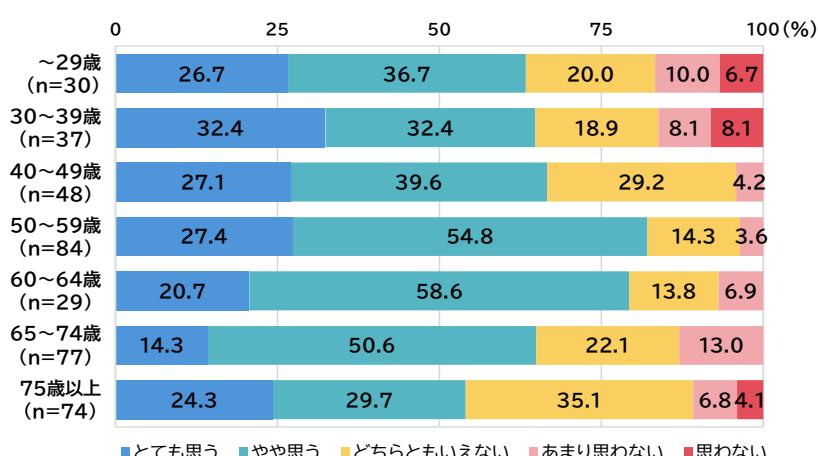
問19 今後、さのタクのようなデマンド乗合交通が定着した場合、地域住民の生活の質は向上すると思いますか？ (SA)

39歳以下で「あまり思わない」「思わない」割合が高いが、まだ本人や親が移動に困る年齢でないため、移動手段の確保が生活の質向上につながる意識が低いことが要因として考えられる。50～64歳のこれから移動手段に困ることが想定される層は肯定的な意見が多かった。75歳以上は「どちらともいえない」の割合が高くサービスの有効性について理解してもらうための取組が必要である。

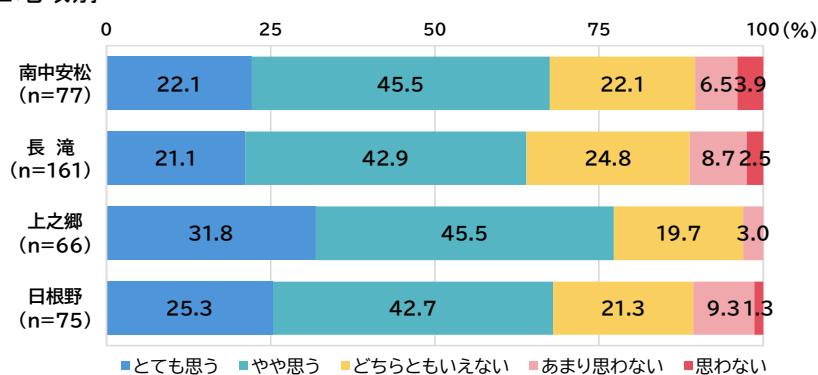
地域別にみると、上之郷で地域住民の生活の質が向上すると思う意向が高かった。移動手段が限られており、生活サービス機能も地域内に少ないため、移動手段の確保を課題に感じていることが予想される。

自動車の利用状況別にみると、運転する層の方が生活サービス向上への期待感をかんじている。運転をしない高齢者等は「とても思う」「やや思う」が5割強に留まっており、「どちらともいえない」が35.8%と最も高いウェイトを占めている。ターゲットにしている層がデマンド型交通の有効性を理解できていないことが想定されるため、理解を促すための広報・周知を進めていく必要がある。

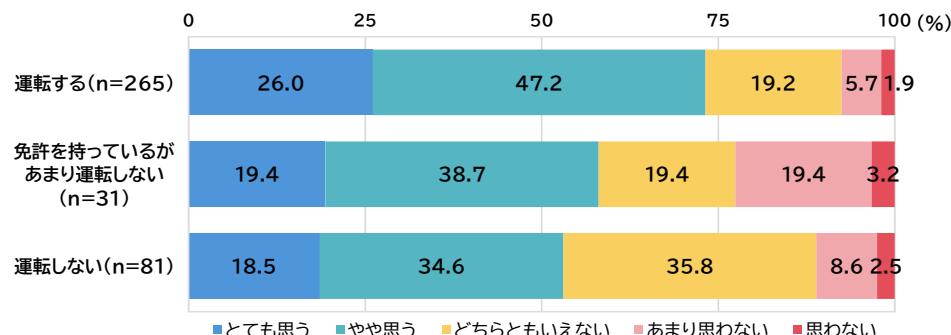
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



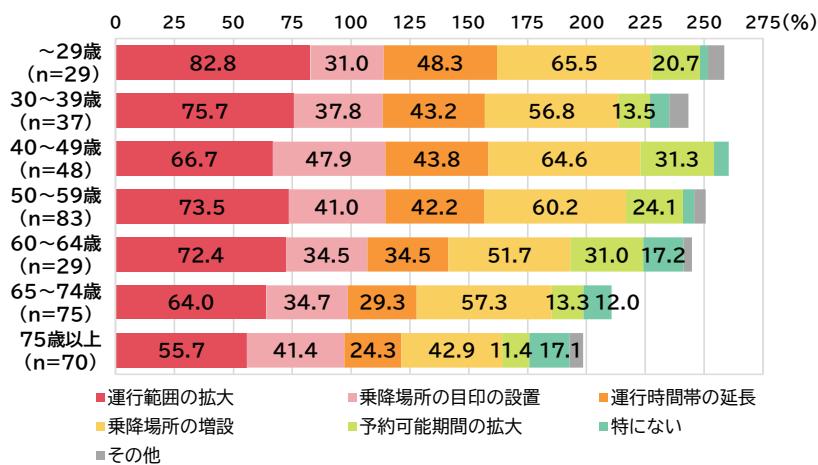
問20 デマンド乗合交通に対するご要望があれば教えてください (MA)

若いほど「運行範囲の拡大」「乗降場所の増設」を要望している。若いほど生活範囲が広いことが要因と考えられる。40~64歳は「予約可能時間の拡大」の意向が高い。

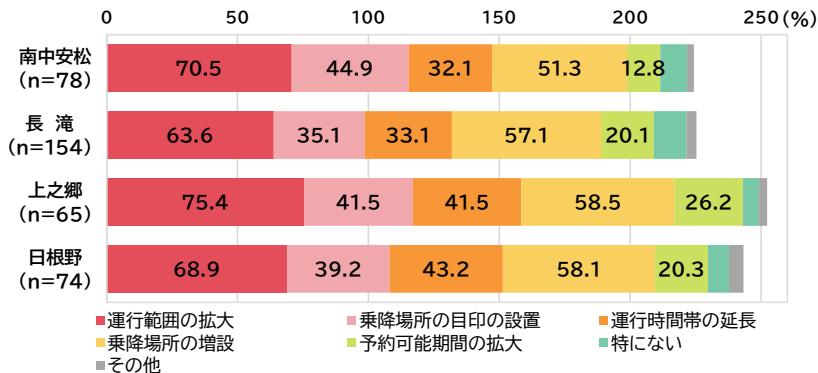
地域別では、南中安松、上之郷で「運行範囲の拡大」、「乗降場所の目印の設置」が高く、上之郷、日根野で「運行時間帯の延長」が高い。

運転免許を持っている層は、「運行範囲の拡大」、「乗降場所の増設」が高く、普段の移動範囲が広いため、広域で自由度の高い移動手段を求めているものと考えられる。

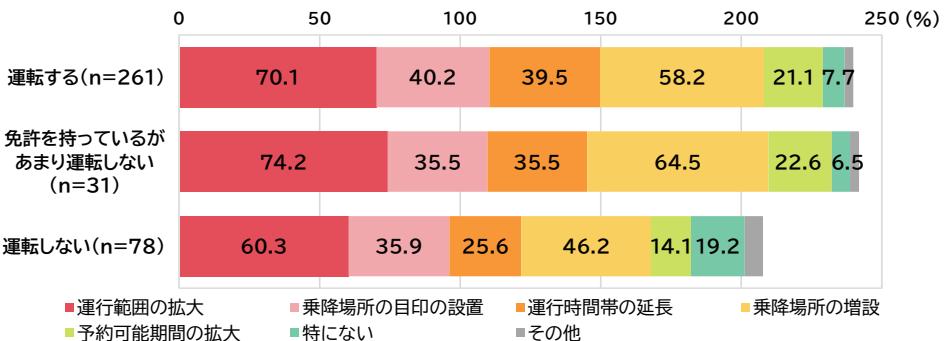
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



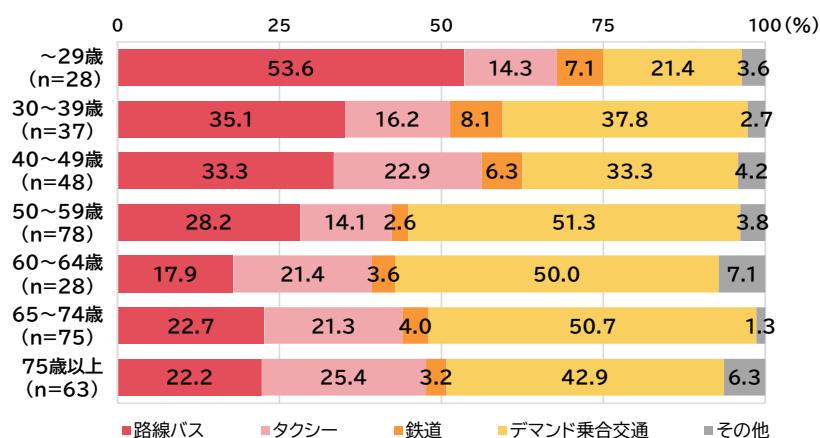
問21 お住いの地域にとって将来的に最も必要だと思う移動手段を教えてください (SA)

若いほど「路線バス」の割合が高く、高齢になると「タクシー」、「デマンド乗合交通」の割合が高い。高齢になるとバス停までの移動も困難になるため、バスよりも細かい移動に対応できる移動手段を要望しているものと考えられる。

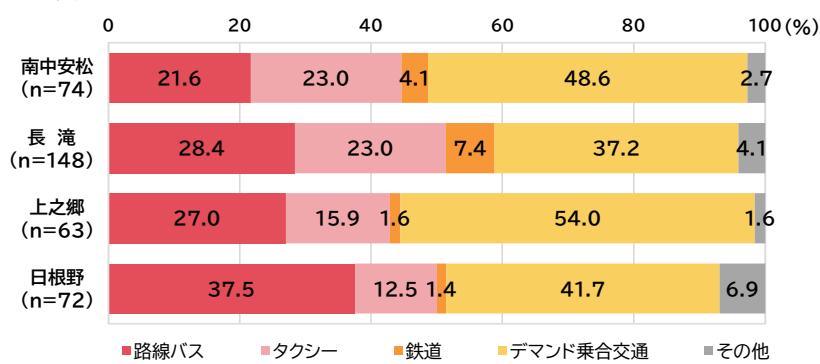
地域別では、南中安松、上之郷で「デマンド乗合交通」の割合が高かった。日根野は「路線バス」の意向が高い結果となっている。

運転する層が「デマンド乗合交通」を支持しており、自由な移動が可能な手段の意向が高いものと考えられる。運転しない層は「デマンド乗合交通」よりも「路線バス」の意向が高い結果となった。

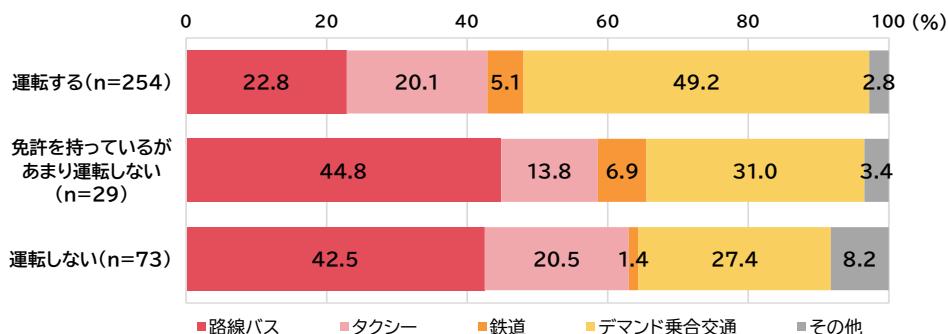
■年齢別



■地域別



■自動車の利用状況



5. 自由記述

分類	要約	対応する意見数
運行エリアの拡大要望	現在の運行エリアが狭いという意見が多く、市内全域（特に日根野駅、泉佐野駅、イオン、病院など）への拡大を望む声が目立つ。「エリアが狭すぎ」「せめて泉佐野市内どこへでも行ける様に」「日根野駅まで拡大してほしい」などの具体的な要望が多い。	42
高齢者の移動手段としての期待	免許返納後や高齢になった際の移動手段として期待する声が多い。「免許返納してからのさのタク利用を考えております」「自分で運転できなくなった時に思う様な生活ができなくなることが不安」など、将来の移動手段確保への期待が表れている。	37
予約方法・利用方法の改善	特に高齢者にとって、スマホやWebでの予約が難しいという意見が多い。「年長者にとってネットで予約するのは無理」「スマホなどを持たない高齢者に対する情報発信の方法」など、予約方法の改善や代替手段の構築を求める声がある。	21
周知不足の指摘	「さのタク」の存在やサービス内容について知らなかったという意見が多く、「周知不足」「知らない人が多すぎ」「アンケートが来るまで知らなかつた」など、広報活動の強化を求める意見が見られる。	18
乗降場所の柔軟性向上	停留所を増やすことや、自宅前まで来てほしいという要望がある。「タクシーであれば、乗降場所を指定された場所にしないで、自宅から目的地に」「高齢者は停留所まで行けない」「家の前までできてくれて目的場所まで乗せていってくれたら助かる」など、乗降場所の柔軟性向上を求める声がある。	16

年齢	お住まい	回答内容
30～39歳	長滝	祭りと重なるともめ事になるかもしない。祭りで使用する道は定期的に見た方が良いかもしれません。同時にカーブミラーがくもっていないかどうかも。
65～74歳	上之郷	1、エリアが狭すぎ、せめて泉佐野市内どへでも行ける様にしてほしい!!その理由として病院、お買い物、他
65～74歳	長滝	スマホを持っているが、あまり活用、ようしないので、教えてもらう機会があれば、有難いと思います。
65～74歳	長滝	特にありません。
30～39歳	長滝	まだ自分で運転も出来るし、長滝から1分に住んでいるので、自転車なしでも車と電車で不自由ないですが、今後子どもが小学校にあがった時に子どもの足で15分の距離をちょっと車が多い道雨の日とかになると心配なのでそうゆうシーンで利用が出来たらいいなと思います。将来同じ地域に住み続けるなら必ずほしいですね。
50～59歳	上之郷	長滝駅にエレベーターがない為年配の方(運転しない方)日根野駅から電車に乗りたいので日根野駅行きが必須です。コミセンバスは日根野駅まで遠回りするので時間がかかりすぎ乗れません。タクシーもなかなか予約とれないので上之郷→日根野駅のルートは必要です。知らない人が多過ぎますもっと認知度を上げる宣伝をするべき。継続を希望します。
65～74歳	長滝	年令と眼科に受診してみえにくいで、オンデマンドは是非活用させてもらいたいです。病院・スーパー・駅に利用したいです。免許返納後の移動手段が欲しいです。
65～74歳	長滝	運行実験を確認出来る方法がわかりません。さのらんまんなどにのればあります。
～29歳	南中安松	個人的には、雨の日の通勤や夜遅くに帰宅する際に使用したい。だが、9:00～17:00は丁度働いている時間と重なっているため、この運行時間だとどうしても利用できない。もし、働いている層もターゲットにするのであれば、朝は7:00、夜は20:00まであるととてもありがたい。だが、高齢者をメインターゲットにするのであれば、運行時間はこのままでも問題ないように思う。運行エリアに関しては、長滝駅はJRなので、南海の羽倉崎駅、りんくうタウン方面へも広げると、高齢者に限らず誰でもより利用しやすくなると思う。
50～59歳	長滝	65才定年が普通になっています。将来70才定年がなる可能性も、市職員の採用年齢の引き上げお願いしたい。60才まで。特殊な資格の持ち主限定になると私はいますが、(電険3下三)65才になれば再雇用で雇う事を考えて下さい。人間がへってきています。日本人以外を雇う事の無い様願います。
40～49歳	上之郷	自身は車があって移動に困らないが、交通弱者はもちろん周知徹底をお願いしたい。知らない人も多いと思う。必要な人程。
50～59歳	上之郷	よくコミュニティバスを利用させてもらっています。ありがとうございます。
65～74歳	長滝	年長者にとってネットで予約するのは無理だと思います。
40～49歳	長滝	高齢者や弱者に優しい施策かと思いますので是非実現して下さい。営利団体との兼ね合いもあるかと思いますが、住民の利益を第1に考える施策が本来あるべきですので。よろしくお願ひします。
50～59歳	南中安松	高齢者の方が利用しやすいように願います。
60～64歳	上之郷	「さのタク」の周知不足。知らない人にアンケートをしてどうするんですか。
30～39歳	長滝	エリアが狭く、エリア外への乗合や、エリア外からの乗合も出来ればと思う。せめて、各駅や主要病院や施設が停留所になればありがたい。自分より高齢の親世代が便利に利用できると思う。
75歳以上	上之郷	さのタクを是非実施して欲しいです。
75歳以上	南中安松	現在のコミュニティバスの本数の増加と路線の多様化。低価格であれば有料で

年齢	お住まい	回答内容
		もOK。
75歳以上	日根野	今は自分で車の運転しておりますが免許返納してからの!!さのタク!!利用を考えております。もっと知って行きたいです。
50~59歳	長滝	運行エリアが狭すぎる事
75歳以上	南中安松	公共下水道一私道面も無料してくださイ（イラスト有（※判別不能））
75歳以上	南中安松	90才を過ぎてるので人生の色々な経験、体験をしておりますので常に何処の場所でもはっきり意見を言ってます。5/16万博も行ってきました。皆さんに感心しておられました。
65~74歳	長滝	障害者の為車イス利用なので考えていただきたい。（夫代筆）
65~74歳	上之郷	運転手さんが、禁煙でお願いしたいです
50~59歳	日根野	コミュニティバスを一方通行でなく、両まわりにして下さい。コミュニティバスが増えてさのタク自体必要でなくなるかもしれません。
65~74歳	長滝	スマホなどを持たない高齢者に対する市政等の情報発信の方法
50~59歳	日根野	運行範囲がとても狭すぎて意味がないと思います
65~74歳	日根野	ごくろう様です。今回の企画は全く知りませんでしたがとてもいいものだと思いました。高齢化が進む中で考慮されたことは、感心がもてます。若い方のこれからの方針を期待したいと思います。私も、高齢の親を持ち、今、介護の必要性。視耐力、地域のしさえ、とても考じております。泉佐野独自の世界観、小さく言えば地域観、見出せば、これから世の中、変わる世になるかもしれませんね。賢い若い方、高齢者をよろしくお願いします！
40~49歳	南中安松	子供がもうすぐ小学生になるのですがその時、バスなどの移動手段があると助かります。さのタクも子供でも利用可能であればとても助かります。
75歳以上	長滝	（さのタク）ありがとうございますが、私は、年が77歳になりますので、長滝の駅の階段の昇り降りが少し大変になってきました。何か良い方法があります様にお願いいたします。
75歳以上	長滝	タクシーであれば、乗降場所を指定された場所にしないで、自宅から目的地（指定内）にしてほしいと思います。（帰りも目的地から、自宅へ）と父が申しております。乗合バスや、バスがあるのは知っていますが、そこまで行くのがとても遠く不便なので利用したことはありません。この考えはとても良いと思います。しかし、高齢者には、まだまだ寄り添った考え方にはほど思い思います。タクシーを運用する内容をもっと検討頂き、利用したいと思えるように変更して下さることを願っています。父の代弁（娘）
75歳以上	日根野	今はバイクで移動していますが近い将来何にも乗れなくなったらお世話になると思いますのでよろしくお願いします。
~29歳	上之郷	祖母が80才を超えて免許の返納を考えているが、車がないと食料品も買いに行けないので（上之郷在住）サノタクが家の前まで来てくれて目的場所まで乗せてってくれたら助かると思う。でないと免許の返納ができない。生活に困る。病院の通院もできない
30~39歳	上之郷	「問21」に記入しました。
50~59歳	日根野	・町内会に入ってないので、町内会入ってる友達に聞いた。・自治会は入ってるが広報を前は代表の所に送ってくれたが市役所に取りに行かないといけなくなり、自身でイオンに取りに行くが忘れたりする。毎月ホームページを見るわけでもなく仕事に行っているので布の事を知る法はほかにないか。コンビニ・スーパーが近くにないので車を乗らなくなったらどうすればいいか今からしんぱい。1人暮しはとくに思う。駅からも遠いし。
75歳以上	南中安松	泉佐野市の色々な試み、努力には敬意を表したい。
50~59歳	南中安松	JR長滝駅～南海羽倉崎間の路線バスがほしい

年齢	お住まい	回答内容
65～74 歳	南中安松	近い将来、自分で車を運転することもなくなるだろうと思います。そんな時、買い物や病院など出かける手段は？となるとタクシーになることが多いと思います。停車場が決まっているところまで歩いて行くのも、たいへんだと思います。自宅近くまで来てくれるタクシーが便利。でも高額だと常用することも無理でしょう。そんなとき、さのタクが低額でできるだけ家の近くに来てくれて、市内ならどこでも行ってくれるーというのは、理想です。よろしくお願ひします。
50～59 歳	長瀧	お年寄（車／自転車が乗れない人）に取って・病院往復／スーパー往復が出来るとより使い勝手の良いデマンドになるかと思います。往／復が出来ないと厳しいですね。・Web 予約は中々厳しいかと。
50～59 歳	長瀧	駅から駅（自宅付近駅からちがう駅（JR から南海））への移動ができないと、あまり意味がないように思います。もう少し範囲を広げて、せめて泉佐野全域への利用ができる様、お願ひします。
40～49 歳	上之郷	年寄りが、生活の為の移動ができるサービスが必要だと思う。
75 歳以上	日根野	路線バスが町内を通ってなくて、この先、きめ細やかな路線バスなど、交通の便が良くなると動き安くなります。困った時など「さのタク」も一度使ってみたいと思います。
75 歳以上	長瀧	市報などで知っていましたが、アンケートで答えたのですが利用したくても乗場が遠い・時間限定などなかなか利用できません。今後の改善をよろしくおねがいします。（住んでいる場所によって利用出来ず取り残された感があります）
75 歳以上	上之郷	誤ったまま使い続けるのですか？ここは泉佐野です。岸和田じゃないですよ！
50～59 歳	上之郷	将来的に、日根野イオン・マツゲン・アローズ・コーポ等エリアにしてほしい。運行エリア内で行くところがない。
75 歳以上	日根野	家の前で乗りおりできるサービスでないと老人はバス停まで行けないです
50～59 歳	南中安松	車を運転する私達は不便はありませんが親世帯はもう運転も出来ず、自転車に乗ると転倒する日が最近増えてます。病院に行く手段がない為、どうしても子供が休みを取らないといけない。これが一番困っています。りんくう総合病院まで拡大してもらえると助かりますし、予約の件、年よりは Web など使えません。わかりやすく文面で市報と一緒に回覧板などで回してもらえるとすごく助かります。宜しくお願ひします。
75 歳以上	長瀧	将来、免許返納したら利用したいと思います
65～74 歳	長瀧	さのタクはいいと思うので早く進めてほしいと思う。一方で路線バス、コミュニティバスの時間帯、増便も考えて頂けたらうれしいです。いずれ車にはのれなくなるので。
50～59 歳	南中安松	さのタクは高齢者向けなのでしょうか。バスを使うほとじゃないけど、行きたいところがちょっと遠いなと思う時に利用（どなたでも）できたらいいなと思いました。
65～74 歳	南中安松	知り合いに、通院、食事、リハビリ等に活用している人がいます。高令 90 で元気です。一人住いです。ぜひ、この活動を継続、発展して下さい。
50～59 歳	長瀧	誰もが、さのタクを気軽に利用しやすい様に、どのような目的で利用されているのか知りたいです。ケース①、ケース②…など。例えば、例院や買物へ行く為にさのタクを利用した後、帰りの時間は特定できないので、どうしたらいいのか。利用方法がイメージ出来ないです。帰りはバス？さのタク？
50～59 歳	日根野	町内会に入ってないので市報が届かないから、すべての家に配って欲しい。高齢になってくるとさらに何がどうとかわからなくなりそうで不安。交通の不便も不安です。もう少し不安がなくなるようにして欲しいです。
40～49 歳	長瀧	少しはなれた、こども園への送りむかえなどに、困った時に利用できたら助かります。泉佐野コミュニティバスは無料で気軽に利用できるので、そんな感じ

年齢	お住まい	回答内容
		だとうれしいです。
75歳以上	長瀧	歩いて行けない
50～59歳	長瀧	お年寄に利用し易い施策をお願いします。
75歳以上	長瀧	泉佐野市内を目的としてほしい。例えば、市民病院など行ってほしい。
50～59歳	上之郷	・日根野駅まで拡大して欲しい。・知らない人が多勢いたので、もっと広めて欲しかったです。・実験だけで終わらず、今後実施して欲しいです
50～59歳	日根野	さのタクに興味を持っており、運行エリアに注目しておりました。車に乗れないで、年配(80代)の母と共に外出するには、タクシーで向かうしかありません。母は駅やバス停まで歩けなくなりました。是非、出発地が増えて、母も一緒に出かける事が出来ますよう。楽しみにしております。
40～49歳	日根野	・広報誌は毎月拝読していますが、今回の社会実験のことはアンケートが届いて知ったので、知っていたら家族に利用してもらいたかったなという思いと、もう少しアピールがあればよかったですという思いがありました。・現在私の住む地域は、南海バス・コミュニティバス共に走っていない地域なので、(もよのバス停まで15～20分かかります)指定の停留所がバスの運行から外れる地域に設けてもらえたなら、利用しやすくなるように思いました。高齢者や子供さんが小さい方を想定していると思われますが、荷物が多い時なども利用できると良いかと思いました。
60～64歳	長瀧	今は自分で運転できているが将来たくさんの方が必要になると思います。ぜひ多くの方が利用できる様にして頂きたいです。いろんな場所が行き来できるとありがたい。
65～74歳	長瀧	ケイタイはガラケーで市報もサ～と目を通すだけで、さのタクの様な便利な乗り物があったらこれから先助かります。
65～74歳	長瀧	・路線バスがなくなりコミュニティバスがその代わりをしているものの本数とコースの関係で時間を要する場合があります。無料で利用できることは本当にありがたいのですが、もう一工夫いただくともっと利用者が増えると思います。・「さのタク」は免許証返納後の交通手段として是非利用したいと思っています。今回は利用できませんでしたが、くり返しテストを行っていただきたいと思います。さらに今回の取り組み結果も広く伝えて説明を行ってもらいたいです。
50～59歳	日根野	コミュニティバスの停留所と本数を増やしてほしい
50～59歳	上之郷	上之郷に住んでいますが、将来的に自分で車の運転ができなくなれば、さのタク利用したいです。何をするにも(買い物、病院)車がなければ行けません。ぜひ低料金でさのタクお願いします。
60～64歳	日根野	路線バス(コミュニティ)が通っていない地区なので、年配の方の移動手段がタクシーだけになっているので、デマンド乗合交通を利用できるようになれば助かると思う。
75歳以上	南中安松	免許も返納しようと思っているが、医者に行く時などタクシーを使っているとすごく金額かかるし、安く利用出来るデマンド乗合交通のような手段があれば良いと思います。乗降する場所がもう少しあれば。
75歳以上	長瀧	今は自力で動けますが、今後運転出来なくなったり家族のささえがなくなったりした場合、もう少し範囲を広げて頂くと利用したいと思います。たとえば泉佐野駅位まで…贅沢かな…すみません。よろしく。
65～74歳	上之郷	コミュニティバスは、無くさないでほしい。(りんくう総合病院に通院のため)
75歳以上	南中安松	高齢者のため日常の買物等に使用したい。スマートフォン、ケイタイ電話持っています。
50～59歳	長瀧	運行範囲を拡大して、距離やエリアに応じて運賃を決めるといいかなと思います。

年齢	お住まい	回答内容
50～59歳	日根野	LINE、InstagramなどSNSを市が使っていることを始めて知った。色々な所でQRコードなどの読みこみで知らせたほうが良いのではと思った。
40～49歳	上之郷	バスが少ない。さのタクも、もっと運行エリアを広くしてほしい。上之郷は田舎ですこしやすいが、買い物などする為にスーパーに行こうとしても、車がないと動きづらい。高齢者等にはバス、さのタクがもっとあればいいと思う。
75歳以上	長瀧	免許返納するため実用化を希望致します。生活質向上のためにありがとうございます
60～64歳	長瀧	自宅がJRの長瀧駅に近く、通勤等で不便を感じておりませんが、今後、運転免許証の返納等で、さのタクが有効と考えております。
50～59歳	上之郷	社会実験時、停留所を詳細に記載してほしかった。特に降りる停留所が記載されていないと停留所と目的地までの距離がわからず利用しにくい。 日根野駅、泉佐野駅、日根野イオンまで範囲にしてほしい。また、診療所、歯医者なども運行エリアに入れていただけると、高齢者の行動範囲が広がると思う。
50～59歳	日根野	お年寄りの為の移動手段としては、乗り合いよりも、本来のウーバーのように、近所の人が対価を得て、お年寄りの移動のお手伝いが出来るようなシステムが理想的だと思う
30～39歳	南中安松	定期バスみたいなものがあれば、利用しやすいと思います。
30～39歳	南中安松	保育園の送迎の際に利用しました、自宅からは自転車で10分弱、徒歩だと30分以上かかる距離のため荷物が多い時には助かります。特に雨の日などは、自転車だと大変なので送迎時間内に営業してくれるとありがたいです。
40～49歳	日根野	画期的なサービスだと感じました 両親はタクシーは料金の高さや必要時に配車してもらえるかの問題がありバス停まで歩いて行くには遠いなど通院や買い物も一苦労なので乗合バスが実現すれば無理に車を運転せずとも生活しやすくなるのではないかでしょうか 実現に向けて期待しています
50～59歳	南中安松	素晴らしい取り組みをされてたんですね～ 泉佐野市が他所の市より、はるかに住みよい市になれば嬉しいです
50～59歳	長瀧	社会実験するならばもっと広報に力を入れて下さい
50～59歳	日根野	空連道沿いに住んでいます。 道沿いにはバス停すらありません。巡回バスに乗るには、歩いて10分以上かけてバス停に行かねばなりません。 さのタクは利用したことありませんが、巡回バス同様、利用に便利で有れば私も使ってみたいと思います。
65～74歳	長瀧	高齢者にも申し込みやすく、使いやすい方法になればいいと思う。
60～64歳	上之郷	車がなければ買い物や病院にいけない 地域なので お年寄りなど車移動できない人に早く利用できるようにしてあげて欲しい
～29歳	南中安松	さのタクが運行していたことを全然知らなかった。もっと周知させてほしかった。
50～59歳	日根野	車が必要な地域なので、高齢ドライバーがたくさんいます。なかなか返納できないと思います。この、さのタクというのが普及して欲しいです。
60～64歳	長瀧	副業会社員等のスキマバイトドライバーを一般募集登録し、利用者がすぐに利用出来る様にする。まあ既にしてらっしゃると思うけど。しかし泉佐野市長他職員の皆さん、市民の為に色々なサービスを考えてくれて、結果上手くいかなかつたもの含め、まずはやってみようと言う心意気、市民の為に国にも意見をする。市民としては誇りに思います。
40～49歳	長瀧	今回、アンケートが来るまで、選ばれていた事を知らず、『さのタク』を利用する事ができませんでした。 申し訳ございません。

年齢	お住まい	回答内容
		今後、また、選んで頂けた際には、精一杯御応えさせて頂きたいと思います。 とても残念です。 本当に申し訳ございませんでした。
50～59歳	上之郷	コミュニティバスもあり、以前より便利なのですが、反対方向に行きたい時、かなりの遠回りになるので、さのタクは、いいなーとおもいました
50～59歳	上之郷	介護タクシー等を利用するよりも こちらを利用するなどして 誰かに頼るより 自分の生活の質は自分で維持したいので ぜひこれは施策として維持してほしい
65～74歳	長瀧	高齢者となり、運転が難しくなると必要になるかと思う。
65～74歳	日根野	1. さのタク名称について疑問です。 タクシーのタクをイメージしてるとと思うが時刻表が無いだけで乗降場所は決まってるためバスをイメージさせた方が分かり易いのでは無いでしょうか？ (タクシーは停留所が無く行きたいところに直接行ける) 2. 運営について意見 停留所を極力増やした上で予約など含め利用しやすい環境を作り利用者を増やす工夫をしないと運営が難しくなると思います。 3. 要望 コミュニティバスが通らない細い道も通れる車両で運行し、補完して欲しい。
40～49歳	南中安松	交通、道路のひび割れが所々あるので整備(同じところでなく)して欲しい。溝を整備して欲しい。いまだにまだ暗いので、 <u>塾</u> に行く子供達、遅い時間に歩いて帰る人達に、少しでも多く電灯を増やして欲しい。本当に今のご時世危ないと思いますので宜しくお願ひします
50～59歳	日根野	雨の日に活躍しそうです
30～39歳	上之郷	高齢者の運転事故が多発しています。 私の住んでいる上之郷でも危険運転が目立ちます。 さのタク の運行で免許返納しやすい環境が整うと有難いです。
40～49歳	上之郷	今は自分で運転できるから利用しなかったが、高齢者になり免許を返納した後は上之郷には何ものないので、利用すると思う。
75歳以上	上之郷	こうしたデマンド乗合交通と相まって、将来に向けたコンパクトシティーの推進をお願いします。
50～59歳	長瀧	さのタクを広めていくのであれば、停留所を増やす事を望みます。 個人的にはライドシェアの方が、使い勝手が良さそうに思います。
65～74歳	上之郷	今は自分で車を運転して必要な場所に移動できているが病院も無く買い物をする店も無い金融機関も無い状況なので、もっと高齢になり 自分で移動する手段が無くなった場合に 思う様な生活ができなくなることが不安です。改善を望みます
30～39歳	長瀧	JRと南海の間の交通手段を増やしてほしい。日根野から泉佐野駅のバスも夜遅くはなくて困り、泉佐野から日根野に行くには一回りんくうタウンまで行って乗り換える必要があり、こんなに近距離なのに800円近く払わなければならず割に合わないし、時間もかかりすぎる。
75歳以上	南中安松	今後利用する必要がないから、改善されても利用しないと思います。
50～59歳	上之郷	今回は市報を見ていなかったので、知りませんでしたが、私はまだ車の運転をしていますが、高齢になった両親が、通院などの場合に利用できたらと思いました。ちなみに両親は、葵町に住んでいます。
65～74歳	長瀧	今後、歳を重ねると、さのタク使いたいです。
50～59歳	南中安松	さのタクについて全く知らず、アンケート調査票が送付されてきて何事かと驚きました。(しっかりした封書だったので)
30～39歳	日根野	アンケート用紙が届いて初めてこういったこと事業の取り組みを知った。

年齢	お住まい	回答内容
		<p>現在の居住地は駅までも遠く、スーパーなども遠い。またバス停も高齢者の足なら遠い。</p> <p>自身が高齢者になった時を考えると大変助かるサービスだと思う。停留所の場所が臨機応変になるとさらに利用しやすいのでは?と思う。</p> <p>それならばタクシー利用券なるものがあったら助かるかもしれない。</p>
~29歳	日根野	免許返納高齢者や身体障害者、小さな子どもには乗降しやすい場所必要。遠ければ意味がない。タクシーより安価で利用可能なサービスとしてあればいい。

6. 考察

1) さのタクの認知状況

- 「さのタク」を知っている人は 29.3%で、多くが知らなかった (70.7%)。
- 認知度は 65~74 歳、75 歳以上で高く、自動車を運転する層の認知度は比較的低かった。
- 地域別では上之郷 (53%)、長滝 (37.3%) の認知度が高く、南中安松や日根野は低い。
- 周知媒体として「広報誌（さのらんまん）」が最も効果的で 65.5%がここから情報を得ている。次いで「家族・知人から聞いた」が 23.9%と高かった。

2) デマンド型乗合交通に対する意向

- 有料化した場合の金額は、「300 円」が最も高く 25.8%、次いで「500 円」が 21.5%。11% 程度が「無料でないと使わない」と回答した。
- 約 70%の市民がデマンド乗合交通定着による生活質向上を期待している。その内訳として、50 ~64 歳、自動車を運転する層の支持が多く、75 歳以上の後期高齢者や自動車を運転しない層の支持はやや低く、「どちらともいえない」の割合が高い結果となった。デマンド型乗合交通の仕組みや利便性についてあまり理解されていない可能性があり、今後も周知を図っていくとともに一度の実証実験に留まらず引き続き実証を行うことが重要である。市政情報の入手手段は限られているため、周知・広報の手段は工夫する必要がある。

3) 将来必要だと思う移動手段

- 「デマンド乗合交通」が 43.0%と最も多く、次いで「路線バス」が 29.2%と多かった。多くの市民にデマンド乗合交通の導入を求められている。
- 若いほど「路線バス」を必要とする割合が高く、高齢になると「タクシー」、「デマンド乗合交通」の割合が高い。高齢になるとバス停までの移動も困難になるため、バスよりも細かい移動に対応できる移動手段を要望しているものと考えられる。
- 運転する層が「デマンド乗合交通」を支持しており、自由な移動が可能な手段の意向が高いものと考えられる。運転しない層は「デマンド乗合交通」よりも「路線バス」の意向が高い結果となっており、想定ターゲットの意向とそれが生じているため、地域で移動に困っている層の移動手段については引き続き検討を続ける必要がある。

4) 自由記述による主な意見・要望

- 具体的には、「もっと周囲に知らせてほしい」「予約方法を簡単に」「エリア拡大してほしい」「停留所より自宅近辺まで来てほしい」といった声が多数あった。
- 高齢者視点ではスマホ非所有問題や免許返納後不安解消策としての期待感といった意見もあった。

5) 総括

本社会実験アンケートでは、「さのタク」の認知率が 30%であったが、利用者の外出機会創出、日常の満足度向上に一定寄与したことが明らかになった。また、市民全体として将来的には有料でも 300~500 円程度なら利用可能との意識があるという結果となった。

多くの方が生活質向上につながるサービスと評価しており、将来的に必要なサービスであると認識しているが、高齢者や自動車を運転しない層からの支持が低めであり、どのようなサービスが求められているのか引き続き調査・検討していく必要がある。

課題としては、認知不足、運行エリア拡大、停留所の増設、などがあったので、今後の取組においてはこれら課題の対応が必須といえる。